

東京創元社 2024年 新刊ラインナップ

国内ミステリ Lineup for 2024 : Japanese Mysteries

1 『 明治殺人法廷 』	四六判上製
芦辺 拓（あしべ・たく）	2024 年内
明治20年12月。保安条例が発令されたため、東京在住の自由民権の志士たちは追放の憂き目に遭った。藩閥専制政府の横暴を批判する仮名文字新聞の探訪記者・筑波新十郎もまた、東京からの退去を命じられてしまう。時を同じくして、大阪の駆け出し代言人（弁護士）迫丸孝平は、被告人に絶対不利の裁判機構に四苦八苦しながら熱意をもって仕事にあたっていたが……出会うはずのない東西二人の青年は、力を合わせて質屋一家壘殺事件の謎に挑むことになる。『大鞠家殺人事件』に続いて贈る、近代日本史×本格ミステリ！	
著者紹介：1958年大阪府生まれ。同志社大学卒。86年「異類五種」で第2回幻想文学新人賞に佳作入選。90年『殺人喜劇の13人』で第1回鮎川哲也賞を受賞し、デビュー。2022年、『大鞠家殺人事件』で第75回日本推理作家協会賞、第22回本格ミステリ大賞を受賞。著作は『スチームオペラ』『奇譚を売る店』『乱歩殺人事件——「悪霊」ふたたび』など多数。	

2 『 エフィラは泳ぎ出せない 』【文庫版】	創元推理文庫
五十嵐 大（いがらし・だい）	2024 年夏
あの震災で、ぼくは兄を、家族を捨てる決意をした——。恋人の妊娠が判明した夏の日、伯母からの電話を受けた小野寺衛。それは知的障害のある兄・聡の死の報せだった。上京後一度も帰らなかった衛は、聡と関わりの深かった人物に話を聞いていくことで、この七年に何があったのかを調べ始める。そして知る慟哭の真実とは？ 『ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと』（幻冬舎）が吉沢亮主演の映画化決定で話題の著者が贈る、鮮烈なミステリ。	
著者紹介：1983年、宮城県出身。元ヤクザの祖父、宗教信者の祖母、耳の聴こえない両親のもとで育つ。高校卒業後上京し、ライター業界へ。2015年よりフリーライターとして活躍。現在は、ハフポスト日本版、「かしわもち」（柏書房）、「ダ・ヴィンチ」（KADOKAWA）など、Webメディアから雑誌まで幅広い媒体に寄稿している。自身の両親のことを綴ったエッセイ『しくじり家族』（CCCメディアハウス）、「ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと」（幻冬舎）、「聴こえない母に訊きにいく」（柏書房）が話題となる。	

3 『 ボーンヤードは語らない 』【文庫版】	創元推理文庫
市川 憂人（いちかわ・ゆうと）	2024 年6月
U国A州の空軍基地にある『飛行機の墓場（ボーンヤード）』で、兵士の変死体が発見された。謎めいた死の状況、浮かび上がる軍用機部品の横流し疑惑。空軍少佐のジョンは、士官候補生時代のある心残りから、フラッグスタッフ署の刑事・マリアと連へ非公式に事件解決への協力を依頼する。実は引き受けたマリアたちの胸中にも、それぞれの過去——若き日に対峙した事件への、苦い後悔があった。高校生の漣が遭遇した、雪密室の殺人。ハイスクール時代のマリアが挑んだ、雨の夜の墜落事件の謎。そして、過去の後悔から刑事となったマリアと漣がバディを組んだ、“始まりの事件”とは？ 初の短編集となった大人気シリーズ第4弾、待望の文庫化。	
著者紹介：1976年神奈川県生まれ。東京大学卒。在学時は文芸サークル・東京大学新月お茶の会に所属。2016年、『ジェリーフィッシュは凍らない』で第26回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。同作は各種年末ミステリベストにランクインし、話題を呼んだ。他の著作に『ブルーローズは眠らない』『グラスバードは還らない』『ボーンヤードは語らない』『ヴァンプドッグは叫ばない』『神とさざなみの密室』『揺籠のアディボクル』『断罪のネバーモア』『灰かぶりの夕海』がある。	

4 『 明智恭介 最初でも最後でもない事件 』 ※仮題	四六判単行本
今村 昌弘（いまむら・まさひろ）	2024 年初夏
神紅大学ミステリ愛好会会長・明智恭介。事件を求めて名刺を配り歩く彼は、果たして名探偵なのか、ただのトラブルメーカーなのか——大学のサークル棟で泥棒同士が鉢合わせした盗難騒ぎ、夏休み直前に起きた宗教学試験問題漏洩事件、助手であり唯一の会員・葉村譲を巻き込んで繰り広げる日常の謎など、『屍人荘の殺人』以前に起きた5つの事件を描く、待望の〈明智恭介〉シリーズ第一短編集！	
著者紹介：1985年長崎県生まれ。岡山大学卒。2017年『屍人荘の殺人』で第27回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。同作は『このミステリーがすごい!』、〈週刊文春〉ミステリーベスト10、『本格ミステリ・ベスト10』で第1位を獲得し、第18回本格ミステリ大賞〔小説部門〕を受賞、第15回本屋大賞第3位に選出。映画化、コミカライズもされた。シリーズ第2弾『魔眼の匣の殺人』、第3弾『兇人邸の殺人』も各ミステリランキングベスト3に連続ランクイン。21年、テレビドラマ『ネメシス』に脚本協力として参加。今最も注目される期待の俊英。最新刊は『でいすべる』。	

5 『 その時鐘は鳴り響く 』 ※仮題	四六判単行本
宇佐美 まこと（うさみ・まこと）	2024 年夏
取り壊される大学の部室棟に残されていた、旧友からのメッセージ。30年前の夏合宿で起きたマンドリンクラブ仲間の死は、本当に事故死だったのか？ 日本推理作家協会賞受賞作家が描く、もっとも切ないスリーピング・マーダー・ミステリ！	
著者紹介：1957年愛媛県生まれ。2006年に『るんびにの子供』で第一回「幽」怪談文学賞短編部門を受賞しデビュー。17年『患者の毒』で第70回日本推理作家協会賞長編部門受賞。『展望塔のラプンツェル』が19年「本の雑誌ベスト10」第1位、山本周五郎賞候補、『ボニン浄土』で大藪春彦賞候補。	

6 『 バラバラ屋敷の怪談 』 ※仮題	四六判単行本
大島 清昭（おおしま・きよあき）	2024 年内
民俗学のフィードワークの手法を用いて、取材を元に怪談を執筆している呻木叶子が遭遇する四つの事件。八人の女性が犠牲になったバラバラ殺人の現場周辺で目撃される四体の幽霊の謎と、現場の屋敷でその後新たに発生した密室殺人を呻木が解き明す表題作ほか、博物館で目撃される少女の霊の来歴を探るうちに、思わぬ不可能犯罪に行き当たる「青いワンピースの怪談」など、第17回ミステリーズ！新人賞受賞作『影踏亭の怪談』の新鋭による恐怖と驚愕の連作集。	
著者紹介：1982年栃木県生まれ。筑波大学大学院修士課程修了。研究者として幽霊・妖怪について論考を発表するかたわら、2020年に『影踏亭の怪談』で第17回ミステリーズ！新人賞を受賞。主な著書に『現代幽霊論』『Jホラーの幽霊研究』『赤虫村の怪談』『地羊鬼の孤独』『最恐の幽霊屋敷』、共著に〈怪談オウマガドキ学園〉シリーズがある。	

7 『 1 (ONE) 』	四六判上製 （創元クライム・クラブ）
加納 朋子（かのう・ともこ）	発売中
大学生の玲奈は、全てを忘れて打ち込めるようなことも、抜きんでて得意なことも、友達さえも持っていないことを寂しく思っていた。そんな折、仔犬を飼い始めたことで憂鬱な日常が一変する。ゼロと名付けた仔犬を溺愛するあまり、ゼロを主人公にした短編を小説投稿サイトにアップしたところ、読者から感想コメントが届く。玲奈はその読者とDMでやり取りするようになるが、同じ頃、玲奈の周りに不審人物が現れるようになり……。短大生の駒子が童話集『ななつのこ』と出会い、その作家との手紙のやり取りから始まった、謎に彩られた日々。作家と読者の繋がりから生まれた物語は、愛らしくも頼もしい犬が加わることで新たなステージを迎える。	
著者紹介：1966年福岡県生まれ。文教大学女子短期大学部卒。92年『ななつのこ』で第3回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。95年『ガラスの麒麟』で第48回日本推理作家協会賞を、2008年『レインレイン・ボウ』で第1回京都水無月大賞を受賞。主な著書に〈駒子〉シリーズのほか『掌の中の小鳥』『いつかの岸辺に跳ねていく』『二百十番館によろこ』『空をこえて七星のかなた』などがある。	

8	『 神の光 』※ 仮題	四六判単行本
	北山 猛邦（きたやま・たけくに）	2024 年内
	1955年、ジョージは一攫千金を夢見て砂漠の町にある会員制の高レートカジノに忍びこむ。そして見事大金を得て見咎められないようカジノを抜け出すことに成功するも、盗んだバイクのエンジンが切れて夜の砂漠で立ち往生してしまう。近くにあった小屋で休み夜明けとともに小屋を出ると、カジノがあった砂漠の町が一夜のうちに跡形もなく消えていた——第76回日本推理作家協会賞短編部門の候補に選ばれた「神の光」を始め、圧倒的なトリックで魅せる奇跡の如き消失劇を5編収録。稀代のトリックメーカー・北山猛邦の新たな代表作となる、傑作推理短編集。収録作＝「1941年のモーゼル」「神の光」「未完成月光」「藤色の鶴」「書き下ろし短編」	
	著者紹介：1979年生まれ。2002年『「クロック城」殺人事件』で第24回メフィスト賞を受賞してデビュー。21年「すべての別れを終えた人」で、22年「神の光」でそれぞれ日本推理作家協会賞短編部門の候補になる。主な著書に『踊るジョーカー』『少年検閲官』『アルファベット荘事件』『私たちが星座を盗んだ理由』『人魚姫 探偵グリムの手稿』『つめたい転校生』『月灯館殺人事件』などがある。	

9	『 熊野古道と八咫鳥の殺人 』	創元推理文庫
	鯨 統一郎（くじら・とういちろう）	2024 年夏
	和歌山にそれぞれ取材へと向かった、早乙女静香と宮田六郎。静香は宗教法人のご神体の取材、宮田は量子力学を研究する機関へのインタビューのためだ。しかし、滞在初日から殺人事件に巻き込まれ……。『邪馬台国はどこですか?』にはじまる、シリーズ最新作。創立70周年記念文庫書き下ろし！	
	著者紹介：1998年『邪馬台国はどこですか?』でデビュー。同作はバー〈スリーバレー〉を舞台に歴史談義を繰り広げる斬新なミステリとして人気を博し、『新・世界の七不思議』『新・日本の七不思議』『崇徳院を追いかけて』とシリーズ化された。『隕石誘拐 宮澤賢治の迷宮』『とんち探偵一休さん 金閣寺に密室』『九つの殺人メルヘン』『文豪たちの怪しい宴』『金閣寺は燃えているか?』など著作多数。	

10	『 白が揺れた 』※ 仮題	四六判仮フランス装
	櫻田 智也（さくらだ・ともや）	2024 年 5 月
	昆虫好きの心優しい青年・魎沢泉。彼は行く先々で事件に遭遇する度、真実を解き明かすと共に、巻き込まれた人々の悲しみに寄り添うのだった……。ハンターたちが狩りをしていた山で起きた、射殺事件の謎を追う「白が揺れた」。花屋を訪れた客たちの注文から、ある人間関係の真相が浮かび上がる「赤の追憶」。埋蔵文化財センター宛に届いた、工事現場から不穏な埋蔵物が出たという連絡がきっかけで、過去の捏造騒動の真実を暴く「黒いレプリカ」など全六編。日本推理作家協会賞&本格ミステリ大賞を受賞した『蟬かえる』に続く、〈魎沢泉〉シリーズ最新作！	
	著者紹介：1977年北海道生まれ。埼玉大学大学院修士課程修了。2013年「サーチライトと誘蛾灯」で第10回ミステリーズ！新人賞を受賞。17年、受賞作を表題作にした連作短編集でデビュー。18年、同書収録の「火事と標本」が第71回日本推理作家協会賞候補になった。21年、『蟬かえる』で第74回日本推理作家協会賞と第21回本格ミステリ大賞を受賞。	

11	『 特撮なんて見ない 』	四六判単行本
	澤村 伊智（さわむら・いち）	2024 年冬
	アメリカの有名な映画祭で、日本人女性プロデューサー・佐倉真帆が手がけた映画が作品賞を受賞した。彼女は受賞スピーチで、「高校三年の夏、湯浅組のみんなと撮った青春映画のおかげでここに立つことができた」と語り、当時を振り返る。——高校三年生の真帆は転校生の湯浅晋吉と、湯浅の唯一の友人で真帆の幼馴染み・音無敏史と共に、特撮怪獣映画を撮ることになる。真帆は名プロデューサーだった、亡き祖父・石川天縫譲りの手腕を発揮。同級生の中からスタッフや俳優、スーツアクターを集め、時にぶつかり合いながらも撮影を進めていく。しかし、何者かから撮影中止を要求する脅迫状が届き……。エンタメ界の気鋭が贈る、衝撃の青春ミステリ！	
	著者紹介：1979年大阪府生まれ。2015年『ぼぎわんが、来る』で第22回日本ホラー小説大賞を受賞しデビュー。19年「学校は死の匂い」が第72回日本推理作家協会賞を受賞。著書に『怪談小説という名の小説怪談』『ばくうどの悪夢』『さえづちの眼』『一寸先の闇 澤村伊智怪談掌編集』などがある。	

12	『 記憶の対位法 』	四六判単行本
	高田 大介（たかだ・だいすけ）	2024 年内
	リモージュ在住のジャーナリスト、『コティディアン』紙の記者ジャンゴ・レノールトは、カトリックの家に育った北アフリカ系の血をひく青年だ。彼はキリスト教系の新聞に記事を書いているため、移民系の友人の間では裏切り者と呼ばれ、苦悩していた。ジャンゴはある日兄の頼みで逝去した祖父のアバルトマンを片付けるため、過疎の山村を訪れた。善良な教師だった祖父は、第二次世界大戦後に対独協力者（コラボ）という烙印を捺された。ナチス・ドイツへの怨嗟に満ちた戦後フランス社会から糾弾され、失意のまま閉じたであろう祖父の生涯とは、どんなものだったのか——やがて隠れた地下蔵で、ジャンゴは二十個ほどの奇妙な黒檀の箱を発見する。象嵌細工の施されたこの箱の正体とは？ ジャンゴは事件の取材で出会った大学院生ゾエ・ブノワの力を借りて、祖父が希求した壮大な謎を追うことになる。『図書館の魔女』シリーズ、『まほり』で読者から絶大な支持を得た気鋭が贈る最新長編。	
	著者紹介：作家・言語学者。1968年東京都生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。2010年『図書館の魔女』で第45回メフィスト賞を受賞しデビュー。主な著書に〈図書館の魔女〉シリーズ、『まほり』がある。	

13	『 命短し恋せよ乙女 』※ 仮題	四六判単行本
	辻 真先（つじ・まさき）	2024 年夏
	大正6年（1917年）、世田谷村の等々力溪谷近くの旧家・守泉家が舞台。芝居道楽の当主・余介が、秋祭りに「なかむら座」を招いて公演をすることに。この公演を取材に、帝国新報（後の夕刊サン）の記者・可能勝郎（もちろんご存じ、可能キリコと可能克郎兄妹の先祖）がやってくることで幕が上がる。大正ロマン溢れる華やかな雰囲気、ミステリの魅力を詰め込んだ、「本作は『特殊設定ミステリ』です。予めご承知おきください」とはじまる、辻真先の集大成！	
	著者紹介：1932年愛知県生まれ。名古屋大学卒。NHK勤務後、『鉄腕アトム』『サザエさん』『サイボーグ009』『デビルマン』『Dr.スランプ アラレちゃん』など、アニメや特撮の脚本家として幅広く活躍。72年『仮題・中学殺人事件』でミステリ作家としてデビュー。現在でもTVアニメ『名探偵コナン』の脚本を手掛けている。82年『アリスの国の殺人』が第35回日本推理作家協会賞を、2009年に牧薩次名義で刊行した『完全恋愛』が第9回本格ミステリ大賞を受賞。19年に第23回日本ミステリー文学大賞を受賞。20年刊行の『たかが殺人じゃないか 昭和24年の推理小説』は、年末ミステリランキング3冠を達成する。	

14	『 蝶として死す 平家物語推理抄 』【文庫版】	創元推理文庫
	羽生 飛鳥（はにゆう・あすか）	2024年3月
	1183年、源氏の木曾義仲軍が平家を破って都入りした。しかし、平頼盛は異母兄・清盛に疎まれていたため、都落ちした一門と決別し、都に留まっていた。そんな頼盛が、義仲に「首がない五つの屍から恩人を特定してほしい」と依頼され、難題に挑むことになるが……。第十五回ミステリーズ！新人賞受賞作「屍実盛」ほか全五編。清盛が都に放った童子は、なぜ惨殺されたのか？高倉天皇の庇護下にあったはずの寵姫は、どのようにして毒を盛られたのか？ 源平合戦の時代を舞台に、推理力を武器に生き抜いた頼盛の生涯を描く歴史ミステリ連作集	
	著者紹介：1982年神奈川県生まれ。上智大学卒。2018年「屍実盛」で第15回ミステリーズ！新人賞を受賞。『平家物語』や謡曲『実盛』にも取り上げられている斎藤別当実盛の最期を題材にした同作は、特異な状況下での「被害者当て」を描いた本格ミステリとして高く評価された。21年同作を収録した連作短編集『蝶として死す 平家物語推理抄』でデビュー。同年、同書は第4回細谷正充賞を受賞した。他の著書に、第23回本格ミステリ大賞候補作となった『揺籃の都 平家物語推理抄』がある。歴史小説と本格ミステリの巧みな融合を追求する、期待の新鋭。また、児童文学作家としても活躍している（齊藤飛鳥名義）。	

15	『 歌人探偵定家 百人一首推理抄 』※仮題	四六判仮フランス装
	羽生 飛鳥（はにゆう・あすか）	2024年夏
	1186年。平家一門の生き残りであり、亡き平頼盛の長男・保盛はある日、都の松林で女のバラバラ死体が発見された現場に遭遇する。生首には紫式部の和歌「めぐりあいて 見しやそれともわかぬまに 雲隠れにし 夜半の月かな」が書かれた札が釘で打たれ、野次馬達はその惨状から鬼の仕業だと恐れていた。そこに現れた、保盛の友人で和歌を愛する青年歌人・藤原定家は「屍に添えて和歌を汚す者は許さん」と憤慨。保盛を相棒に、事件解決に乗り出す！『百人一首』に選出された和歌には、秘密があった―若き西行が遭遇した密室からの人間消失、和歌の見立て殺人、女房の連続怪死。定家が和歌の絡んだ謎を解く、豪華絢爛な歴史ミステリ連作集。	

16	『 九人のレジェンドと愚か者が一人 』	四六判単行本
	本城 雅人（ほんじょう・まさと）	2024年6月
	26年前、バ・リーグのペナントレースを制した、阪和バーバリアンズ。そのきっかけとなったのは、オールスター明けの大逆転試合だった。0-9で迎えた7回の攻撃からの逆転劇で、勢いをつけたバーバリアンズはリーグ優勝へと駆け上った。在阪テレビ局が、その再現ゲームを企画。かつてのメンバーにインタビューしていくのだが……。伝説となったこの試合の裏で、当時のマネージャーがある事件を起こしていたという。愚か者とは誰を指すのか？ プロ野球界の光と闇を描く、著者渾身のミステリ。	
	著者紹介：1965年神奈川県生まれ。明治学院大学卒。スポーツ新聞記者、競馬雑誌デスクを経て、2009年『ノーパディノウズ』でデビュー。翌年に同作で第1回サムライジャパン野球文学賞を受賞。17年に新聞記者たちの地道な取材をテーマとした『ミッドナイト・ジャーナル』が第38回吉川英治文学新人賞を受賞。18年に『傍流の記者』が第159回直木三十五賞の候補となる。近著に『キングメーカー』『二律背反』がある。23年9月から『二係捜査』シリーズを3ヶ月連続刊行し、話題に。	

17	『 ぼくらは回収しない 』	四六判仮フランス装（ミステリ・フロンティア）
	真門 浩平（まもん・こうへい）	2024年3月
	数十年に一度の日食が起きた日、名門大学の学生寮で女子学生が亡くなった。密室状態の現場から自殺と考えられたが、小説家としても活躍し、才気溢れる彼女が死を選ぶだろうか？ 納得できない寮生たちは、独自に事件を調べ始める……。第19回ミステリーズ！新人賞受賞作を含む全5編を収録。新人発掘プロジェクト「カップパ・ツアー」第三期でも選出され、新人賞二冠を達成。一躍注目を集める新鋭による鮮烈な作品集！	
	著者紹介：1999年アメリカ生まれ。東京都在住。東京大学大学院情報理工学系研究科在学中。2022年、「ルナティック・レトリバー」で第19回ミステリーズ！新人賞を受賞。23年、「麻坂家の双子喧嘩」で新人発掘プロジェクト「カップパ・ツアー」第三期でも選出される（『バイバイ、サンタクロース 麻坂家の双子探偵』と改題して刊行）。	

18	『 デフ・ヴォイス 』	創元推理文庫
	丸山 正樹（まるやま・まさぎ）	2024年2月
	元埼玉県警の事務職員・荒井尚人は、再就職も決まらず、アルバイトで深夜帯の警備員をする日々。子供の頃から、ろうの家族と聴者との間で通訳をこなしてきた荒井は、やむをえず手話通訳士の資格を取得する。手話通訳の仕事をサポートさせた最中、警察時代にかかわった事件の被害者の息子が殺害される。容疑者として浮かび上がったのが、あの事件で逮捕されたろう者だった……。草薙剛主演のドラマ化で話題の〈デフ・ヴォイス〉シリーズ第一弾を創元推理文庫版で贈る。	
	著者紹介：1961年東京都生まれ。早稲田大学卒。シナリオライターとして活躍ののち、松本清張賞に投じた『デフ・ヴォイス』でデビュー。同作は書評サイト「読書メーター」で話題となり、シリーズ第2弾『龍の耳を君に』、第3弾『慟哭は聴こえない』、第4弾『わたしのいないテーブルで』、シリーズスピンオフ『刑事何森 孤高の相貌』『水まきジイサンと図書館の王女さま』『手話だからいえること 泣いた青鬼の謎』も好評を博す。2021年『ワンダフル・ライフ』で読書メーター OF THE YEAR 2021に選ばれる。22年『龍の耳を君に』が第17回酒飲み書店員大賞を受賞。他の著作に『漂う子』『ウェルカム・ホーム！』『キッズ・アー・オールライト』『夫よ、死んでくれないか』がある。	

19	『 冬期限定ボンボンショコラ事件 』	創元推理文庫
	米澤 穂信（よねざわ・ほのぶ）	2024年4月
	小嶋常悟朗、高校三年生。小市民を志す彼はある日空を舞い―落ち、病院に搬送された。轢き逃げだった。病室で目を覚ました小嶋君は、朦朧としながら自分が右の足の骨を折っていることを聞かされ、それにより大学受験が困難になったことを知る。警察から聴取を受け、ふたたび昏々と眠る小嶋君の枕元には、同じく小市民を志す小佐内さんからの「犯人をゆるさない」というメッセージが残されていた……。シリーズ最大の事件を描く冬の巻いよいよ刊行！	
	著者紹介：1978年岐阜県生まれ。2001年、『氷菓』で第5回角川学園小説大賞奨励賞（ヤングミステリー&ホラー部門）を受賞してデビュー。青春小説としての魅力と謎解きの面白さを兼ね備えた作風で注目され、『春限定いちごタルト事件』などの作品で人気作家としての地位を確立する。11年に『折れた竜骨』で第64回日本推理作家協会賞、14年『満願』で第27回山本周五郎賞、21年『黒牢城』で第12回山田風太郎賞、翌年には同作品で第166回直木賞を受賞。他の著書に『さよなら妖精』『犬はどこだ』『追想五断章』『王とサーカス』『真実の10メートル手前』『本と鍵の季節』『可燃物』『米澤屋書店』などがある。	

SF Lineup for 2024：Science Fiction

20

『 システムの崩壊 』 ※ 仮題 System Collapse		創元 SF 文庫
マーサ・ウェルズ	中原 尚哉 訳	2024 年冬
<p>冷徹な殺人機械のはずなのに、弊機はひどい欠陥品です——人間苦手、ドラマ大好きな“弊機”の活躍！ 惑星調査任務での危機を辛くも脱した弊機に、息つく間もなく新たなトラブルが襲いかかる。はたして弊機は、ARTとともにドラマの視聴を楽しむ安逸な暮らしを実現できるのか？ ヒューゴー賞など計10冠、Apple+でドラマ化も決定の大人気《マーダーボット・ダイアリー》シリーズ第4弾！</p>		
<p>著者紹介：1964年テキサス州フォートワース生まれ。テキサスA＆M大学で人類学の学位を取得。93年に長編The Element of Fireでデビュー。《マーダーボット・ダイアリー》シリーズ第一話「システムの危殆」（2017）でヒューゴー賞・ネビュラ賞・ローカス賞の各ノヴェラ部門、第二話「人工的なあり方」（2018）でヒューゴー賞・ローカス賞の各ノヴェラ部門を受賞。日本で刊行された『マーダーボット・ダイアリー』は第7回日本翻訳大賞を受賞。シリーズ初長編『ネットワーク・エフェクト』（2020）はヒューゴー賞・ネビュラ賞・ローカス賞のトリプルクラウンに輝き、2021年にはシリーズ全体がヒューゴー賞シリーズ部門を受賞した。</p>		

21

『 精霊を統べる者 』 ※ 仮題 A Master of Djinn		四六判仮フランス装 (創元海外 SF 叢書)
P・ジェリ・クラーク	鍛冶 靖子 訳	2024 年夏
<p>19世紀中盤、魔術師アル＝ジャーヒズがジンの世界に穴を開けたことで、世界は一変した。ジンの魔法によりエジプトは急速に発展・繁栄するが、アル＝ジャーヒズは姿を消し、伝説と化した。それから40年後、カイロにアル＝ジャーヒズを名乗る仮面の男が現れ、彼を崇拜する人々を焼き尽くす。いったいどういうことか？ エジプト魔術省の特別調査官ファトマが、恋人の女性シティと共に捜査に乗り出す。ネビュラ賞・ローカス賞・イグナイト賞受賞の傑作スチームパンク・ファンタジー！</p>		
<p>著者紹介：1971年ニューヨーク生まれ。短編「ジョージ・ワシントンの義歯となった、九本の黒人の歯の知られざる来歴」で2019年のネビュラ賞とローカス賞を受賞。ノヴェラRing Shoutで21年のネビュラ賞、ローカス賞、英国SF協会賞、仏イマジネール大賞翻訳部門を受賞。長編『精霊を統べる者』で22年のネビュラ賞、ローカス賞、イグナイト賞、コンプトン・クルック賞を受賞。</p>		

22

『 ロボットの夢の都市 』 Neom		四六判仮フランス装 (創元海外 SF 叢書)
ラヴィ・ティドハー	茂木 健 訳	発売中
<p>太陽系を巻き込んだ大戦争から数百年。宇宙への脱出を夢見るジャンク掘りの少年、それ自体がひとつの街のような移動隊商宿で旅する少年、そして砂漠の巨大都市の片隅で見慣れぬロボットと出会った女性。彼らの運命がひとつにより合わさるとき、かつて一夜にしてひとつの都市を滅ぼしたことのある戦闘ロボットが、数世紀の眠りから目覚めて……世界幻想文学大賞作家が贈る、どこか懐かしい未来のSF物語。</p>		
<p>著者紹介：1976年イスラエル生まれ、ロンドン在住。長編Osama（2011）で世界幻想文学大賞を受賞。Central Station（2016）でキャンベル記念賞とニューコム賞を受賞。『完璧な夏の日』（創元SF文庫）は英ガーディアン紙の2013年度ベストSFに、デイリーメール紙の年間ベストブック・ファンタジー部門にそれぞれ選出された。『黒き微睡みの囚人』（竹書房文庫）は2014年ジャーウッド賞を受賞した。日本では『完璧な夏の日』と『黒き微睡みの囚人』がそれぞれ星雲賞海外長編部門候補になっている。</p>		

23

『 闇の中をどこまで高く 』 How High We Go in the Dark		四六判並製 (海外文学セレクション)
セコイア・ナガマツ	金子 浩 訳	2024 年 3 月
<p>【アーシュラ・K・ル＝グイン賞特別賞受賞作】未知のパンデミックに襲われ、人々の絆や社会が崩壊しかけた近未来。余命わずかな子供たちを安楽死させる遊園地で働くコメディアン青年、亡くなった人々との短い別れを提供するホテルの従業員、地球を離れて新天地をめざす宇宙移民船……ゆるやかに回復してゆく世界の中で、消えない喪失を抱えながら懸命に生きる人々の姿をオムニバス形式で描く、新鋭の第一長編。</p>		
<p>著者紹介：アメリカの作家。日本にルーツを持っており、オアフとサンフランシスコで育ち、大学院入学前に2年間新潟に住んだことがある。南イリノイ大学で創作を学び、2010年に作家デビュー。22年の第一長編『闇の中をどこまで高く』はアーシュラ・K・ル＝グイン賞特別賞を受賞したほか、アンドリュウ・カーネギー・メダルやベン／フォークナー賞などの候補にもなった。</p>		

24

『 フレドリック・ブラウン短編全集 』【 文庫版 】 From These Ashes		創元 SF 文庫
フレドリック・ブラウン	安原 和見 訳	2024 年夏
<p>1963年9月の創元SF文庫創刊時、第一陣を飾った『未来世界から来た男』。同書をはじめとして、フレドリック・ブラウンのSF短編全111編を全5巻の文庫に収録。安原和見による完全新訳でお届け。</p>		
<p>著者紹介：1906年アメリカ生まれ。新聞社、雑誌社などに勤務のかたわら、執筆を開始。47年刊行の『シカゴ・ブルース』で、アメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞最優秀新人賞を受賞。多くのミステリ、SF、ファンタジーを発表した。代表作は『真っ白な嘘』『不吉なことは何も』『通り魔』『不思議な国の殺人』『3、1、2とノックせよ』『未来世界から来た男』『天使と宇宙船』『スポンサーから一言』など。奇抜な着想と軽妙な話術で描くショートショートの名手。72年没。</p>		

25

『 10月はたそがれの国 』【 新訳版 】 The October Country		創元 SF 文庫
レイ・ブラッドベリ	中村 融 訳	2024 年内
<p>SFの抒情詩人ブラッドベリの名声確立した最初の短編集『闇のカーニバル』全編に、新たに5つの新作を加えた珠玉の作品集。後期のSFファンタジーを中心とした短編とは異なり、ここには怪異と幻想と夢魔の世界がなまなましく息づいている。</p>		
<p>著者紹介：1920年、アメリカのイリノイ州生まれ。34年にカリフォルニア州へ移住。少年時代からSFを耽読し、41年にヘンリー・ハースとの共作「振り子」で雑誌デビュー。その後、独特の流麗な文体により“SFの抒情詩人”と呼ばれるまでになる。代表作に『火星年代記』『華氏451度』『何かが道をやってくる』『ウは宇宙船のウ』など。また56年にはジョン・ヒューストン監督映画『白鯨』の脚本を担当した。2004年、アメリカの芸術家にとって最大の荣誉であるナショナル・メダル・オブ・アーツを受章。12年没。</p>		

26

『 ミネルヴァ計画 』 ※ 仮題 Mission to Minerva		創元 SF 文庫
ジェイムズ・P・ホーガン	内田 昌之 訳	2024 年夏
<p>100刷突破の大人気作品『星を継ぐもの』に始まるシリーズの第5弾にして最終巻がついに邦訳！ シリーズ主人公のハント博士とダンチェッカー教授がマルチバースの謎に挑む。</p>		
<p>著者紹介：1941年、英国ロンドン生まれ。コンピュータ・セールスマンだったが、77年に一気に書き上げた長編『星を継ぐもの』でデビュー。同書は日本に翻訳紹介されると同時に爆発的な人気を博し、翌年の星雲賞を受賞。さらに『創世記機械』『内なる宇宙』でも同賞を受賞した。『造物主（ライフメーカー）の掟』『時間泥棒』など、最新科学技術に挑戦する作品を矢つぎばやに発表し、現代ハードSFの旗手として幅広い読者を獲得した。また『未来の二つの顔』『未来からのホットライン』『星を継ぐもの』は星野之宣によって漫画化されている。2010年没。</p>		

27	『 歌う船 』 〔完全版〕 The Ship Who ...	創元 SF 文庫
	アン・マキャブリー	嶋田 洋一 訳
		2024 年夏
	金属の殻に封じ込められ、宇宙船の維持と管理に従事する各種の機械装置に神経シナプスをつながれたヘルヴァは、優秀なサイボーグ宇宙船だった——宇宙船の身体を持つ少女の冒険を描く伝説的傑作オムニバス長編に、シリーズ短編2編を追加収録し、完全新訳でお贈りする。	
	著者紹介：アメリカの作家。1926年生まれ。各種あるシリーズの中では《バーンの竜騎士》が有名だが、著者自身最も愛着があると語るのが、デビュー間もない頃を書いた『歌う船』である。宇宙船の身体をもつ一人の少女の冒険を綴った傑作連作集で、その後シリーズ化された。2011年没。	

28	『 人新世 SF 傑作選 シリコンバレーのドローン海賊 』 Tomorrow's Parties	創元 SF 文庫
	ジョナサン・ストラーン 編	中原 尚哉 他訳
		2024 年 5 月
	人新世とは、人間の活動が地球環境に長期的な影響を及ぼす時代、すなわちまさに現代のこと。パンデミック、世界的な経済格差、人権問題、資源問題、そして環境破壊や気候変動問題……未来が破滅的に思えるときこそ、SFというツールの出番だ。グレッグ・イーガンを始めとする気鋭の作家たちが不透明な未来を切り拓く、全11編のアンソロジー。	
	収録作家：グレッグ・イーガン、陳 楸帆、ダリル・グレゴリイ、マルカ・オールダー、ジャスティナ・ロブソン、サード・Z・フセイン、テイド・トンプソン、メグ・エリソン、サラ・ゲイリー、ジェームズ・ブラッドレー（順不同）	

29	『 ノーマンズ・ソサエティー 』	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
	秋田 禎信 (あきた・よしのぶ)	2024 年内
	記憶をリセットする技術が発達し、不都合があればすぐに以前の人格と記憶を捨て、新たな人間に生まれ変わることが常識となった、近未来の社会。なぜか何回リセットしても、お互いに関する記憶を夢で思い出してしまう少年《スコップ》と彼が恋する少女《小声》は、廃棄処置される直前、街の外から来た男・レールローダーの手引きで脱出する。しかし、ふたりに追っ手がかかる。なぜ、廃棄される子供にすぎないのに命を狙われるのか？彼らが見る夢の意味とは？《魔術士オーフェン》の著者が描く、SF長編。	
	著者紹介：1973年東京都生まれ。91年、17歳で応募した『鬼の話』で第3回ファンタジア長編小説大賞に準入選。翌年に同作を改訂・改題した『ひとつ火の粉の雪の中』でデビュー。代表作〈魔術士オーフェン〉シリーズは、累計1400万部（電子含む）を超える大ヒットとなる。また、一般文芸、アニメノベライズ、ゲームの脚本などにも活動の場を広げている。他の著書に『カナスピカ』『機械の仮病』『ハンターダーク』『ハルコナ』『Your story with あなたとクルマの物語』がある。	

30	『 記憶人シーの最後の記憶 』	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
	柞刈 湯葉 (いすかり・ゆば)	2024 年秋
	現生人類が減びざったのち、〈別種〉と呼ばれる遺伝子改変者のみが暮らす未来の地球。人の営みの全てを後世へ手渡すべく、完全な記憶を与えられた少年シーは、喋る黒猫エルとともに旅を続けていた——『横浜駅SF』、『まず牛を球とします。』の柞刈湯葉の最新長編にして、『旅のラゴス』『ヨコハマ買い出し紀行』の系譜に連なる、ポストアポカリプス×ロードノベルの新たな傑作！	
	著者紹介：福島県生まれ。2016年、第1回カクヨムWeb小説コンテストSF部門大賞を受賞した『横浜駅SF』でデビュー。著書に『人間たちの話』『まず牛を球とします。』などがある。	

31	『 感傷ファンタスマゴリィ 』	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
	空木 春宵 (うつぎ・しゅんしょう)	2024 年 4 月
	わたしはこれから、あの子について綴る。けれどもそれは、彼女の生き方を讃美するためでもなければ、己の過ちを悔悟するためでもない。ただひとえに、武器を造り上げるためにこそ、わたしは書く——AIとファッション、古典落語と幽霊譚、オリエンタリズムと搾取、VR空間と魔女狩り……SFと幻想の融合によりファンタスマゴリックな世界を紡ぎ続ける『感応グラン＝ギニョル』の著者による、進化と深化の第二作品集。	
	著者紹介：1984年静岡県生まれ。駒澤大学文学部国文学科卒。2011年、平安朝を舞台にした言語SF『繭の見る夢』が第2回創元SF短編賞の佳作に選出される。19年、『ミステリーズ！』vol.96にゴシック幻想ホラー「感応グラン＝ギニョル」を発表。同年、アンソロジー『Genesis 白昼夢通信』に「地獄を縫い取る」を発表、のちに竹書房刊行の大森望編『ベストSF2020』に採録され話題となった。初作品集『感応グラン＝ギニョル』で『SFが読みたい！2022年版』の「ベストSF2021 国内篇」第3位。	

32	『 円城塔短編集 』 ※ 仮題	四六判仮フランス装 (創元日本 SF 叢書)
	円城 塔 (えんじょう・とう)	2024 年夏
	2008年刊の『年刊日本SF傑作選 虚構機関』（創元SF文庫）に収録された第50回群像新人文学賞二次選考通過作「バリンブセスト あるいは重ね書きされた八つの物語」と翌2009年刊の『超弦領域』（創元SF文庫）に異例の書き下ろしで収録された数学ハードSF「ムーンシャイン」に、『ミステリーズ！』vol.84掲載の「遍歴（エルゴディック）」、『紙魚の手帖』vol.12掲載の「ローラのオリジナル」を加えた全4編。	
	著者紹介：1972年北海道生まれ。東京大学大学院修了。2007年第7回小松左京賞最終候補作『Self-Reference ENGINE』でデビュー。10年『烏有此譚』で第32回野間文芸新人賞を、12年「道化師の蝶」で第146回芥川賞を、13年、伊藤計劃の遺稿を書き継いで完成させた『屍者の帝国』で第33回日本SF大賞特別賞と第44回星雲賞を受賞。17年には短編「文字渦」で第43回川端康成文学賞を、19年に同作を表題とした短編集で第39回日本SF大賞を受賞した。アニメ『ゴジラ S.P 〈シンギュラポイント〉』ではシリーズ構成・脚本を務め、同名の小説を22年に刊行した。	

33	『 星の航海者 2 遙かな惑星 』 ※ 仮題	創元 SF 文庫
	笹本 祐一（ささもと・ゆういち）	2024 年春
	恒星間記録員のメイアは、約200年ぶりに訪れたくじら座 τ 星の惑星ディーブブルーで、開拓第6世代の惑星記録員ミランダと出会う。ミランダは宇宙勤務を忌避していたが……。著者の真骨頂たる宇宙SFシリーズ第2弾！	
	著者紹介：1963年東京生まれ。宇宙作家クラブ会員。84年『妖精作戦』でデビュー。99年の『彗星狩り 星のパイロット2』と、2005年の『ARIEL』で星雲賞日本長編部門を、03年、04年、07年の『宇宙へのパスポート』3作すべてで星雲賞ノンフィクション部門を受賞。	

34	『 はじまりの青 シンデュアリティ：ルーツ 』	創元 SF 文庫
	高島 雄哉（たかしま・ゆうや）／原作：MAGUS	2024 年 3 月
	西暦2099年、9歳のエロスとアイが暮らす超高層都市を、人体を蝕む青い雨が襲う。生き延びた彼女たちとその子孫は、変わり果ててしまった世界の中で、新しいかたちの文明を築こうと試みるが——好評放映中のTVアニメとゲームで展開される『SYNDUALITY』シリーズの、知られざる「はじまり」にせまる公式小説。	
	著者紹介：1977年山口県生まれ。東京大学、東京藝術大学をそれぞれ卒業。2014年、「ランドスケープと夏の定理」で第5回創元SF短編賞を受賞（門田充宏「風牙」と同時受賞）。18年の同題長編化作品は、第1作ながら『SFが読みたい!』国内篇第5位に、また星雲賞日本長編部門候補となった。他の作品に、アニメ『ゼーガペイン』のスピノフ作品である『エンタングル：ガール』や、『不可視都市』、『小説 機動戦士ガンダム 水星の魔女』などがある。16年の劇場アニメ『ゼーガペインADP』にはじまり、TVアニメ『機動戦士ガンダム 水星の魔女』、『SYNDUALITY Noir』、ゲーム『ARMORED CORE VI』など、数多くの作品にSF考証として参加し、24年春放送のTVアニメ『ザ・ファブル』では、シリーズ構成および脚本を手がける。	

35	『 ホロニック：ガール 』	四六判仮フランス装（創元日本 SF 叢書）
	高島 雄哉（たかしま・ゆうや）	2024 年夏～秋
	2006年のテレビ放送以来、現在に至るまで愛され続けてきた、不朽のSFアニメシリーズ〈ゼーガペイン〉。そのスピノフ作品として人気を集めた『エンタングル：ガール』（創元SF文庫）に引き続き、気鋭のSF作家が贈る公式小説第2弾。	

36	『 まるで渡り鳥のように 藤井太洋SF傑作集 』 ※ 仮題	四六判仮フランス装（創元日本 SF 叢書）
	藤井 太洋（ふじい・たいよう）	2024 年内
	時は22世紀。拡張現実（AR）の観測ステージを備えるラボで鳥の渡りを再現する研究者が選んだ道と、その先に広がっていた思いもよらない未来とは——海を越えて生息地へ渡る鳥、春節に故郷へ帰る華人、そして宇宙を縦横に渡る人類。時間と空間と種族を越えた「渡り」への想像力を、忘れがたい物語へと昇華させた表題作ほか、科学と人間と社会への希望と祈りに満ちたSF傑作集。	
	著者紹介：1971年鹿児島県生まれ。国際基督教大学中退後、舞台美術、イラストレーターなどの職を経たのち、2012年に電子書籍で発表した「Gene Mapper」を発表、翌年にはハヤカワ文庫JAより『Gene Mapper-full build-』として刊行され、本格的にデビューを果たす。同年刊行の『オービタル・クラウド』で第35回日本SF大賞と第47回星雲賞日本長編部門を受賞。18年、『ハロー・ワールド』で第40回吉川英治文学新人賞を受賞。近著に『東京の子』『第二開国』などがある。	

37	『 射手座の香る夏 』	四六判仮フランス装（創元日本 SF 叢書）
	松樹 凜（まつき・りん）	2024 年 2 月
	意識転送技術を濫用し、危険で違法な〈動物乗り〉に興じる若者たち／少女の憂鬱な夏休みにある日現れた、“影”たちをつれた男の子／出生の〈巻き戻し〉が制度化された世界で、過ぎ去りし夏の日の謎を追う男性／限りなく夏が続く仮想現実世界で、自らの身体性に思い悩む人工知性の少年少女——夏を舞台とする四つの小説に、青春のきらめきと痛みを巧みに閉じ込めた、第12回創元SF短編賞受賞作を含むデビュー作品集。	
	著者紹介：1990年生まれ。慶應義塾大学推理小説同好会出身。2020年『飛ぶ教室』第51回作品募集に佳作入選、21年に第8回日経「星新一賞」優秀賞を、同年「射手座の香る夏」で第12回創元SF短編賞を受賞。	

38	『 神々の歩法 』【 文庫版 】	創元 SF 文庫
	宮澤 伊織（みやざわ・いおり）	2024 年秋
	一面の砂漠と化した北京。廃墟となった紫禁城に、米軍の最新鋭戦争サイボーグ部隊が降り立った。標的は単独で首都を壊滅させた神のごとき“超人”。その圧倒的な戦闘能力になす術もなく倒れゆく隊員たちの眼前に、突如青い炎を曳いて一人の少女が現れた——第6回創元SF短編賞受賞作にはじまる本格アクションSF連作長編。	
	著者紹介：作家。秋田県出身。2011年『僕の魔剣が、うるさい件について』でデビュー。15年「神々の歩法」で第6回創元SF短編賞を受賞し、受賞作を表題とした連作長編を22年に刊行。コミック化、アニメ化もされた〈裏世界ピクニック〉シリーズで人気を博す。他の著作に『ウは宇宙ヤバイのウ!』『そいねドリーマー』など多数。最新刊は『ときときチャンネル 宇宙飲んでみた』。	

39	『 銀河風帆走 』	四六判仮フランス装（創元日本 SF 叢書）
	宮西 建礼（みやにし・けんれい）	2024 年夏
	地球に接近する小惑星の発見に際し、高校生のほくらは衝突を防ぐための宇宙機計画に挑む（「もしもほくらが生まれていたら」）。銀河風を受けて広大無辺の宇宙空間を飛ぶ探査機たち。銀河系を終焉に導く〈解体者〉に抗い、生命の存続を賭けて……（「銀河風帆走」）。大学在学中に第4回創元SF短編賞を受賞し、鮮烈な想像力を発揮しつづける俊英が満を持して放つ第一短編集。	
	著者紹介：1989年大阪府豊中市生まれ。京都大学農学部資源生物科学科在籍中の2013年に「銀河風帆走」で第4回創元SF短編賞を受賞しデビュー。	

40	『 天駆せよ法勝寺 』	四六判仮フランス装（創元日本 SF 叢書）
	八島 游舷（やしま・ゆうげん）	2024 年内
	九重塔型の宇宙船が、佛理学の力によって恒星間を駆ける——大胆な世界設定で話題を呼んだ、第9回創元SF短編賞受賞作「天駆せよ法勝寺」。作中に登場する宇宙僧（コスモンク）たちの、若かりし日の活躍を大幅に増補した長編版がついに刊行。さらに奥行きとアイデア密度を増した、「佛（ほとけ）バンク」の世界がその全貌を現す。	
	著者紹介：2018年、第5回日経「星新一賞」を「Final Anchors」で受賞（電子書籍アンソロジー『日経「星新一賞」第五回受賞作品集』に、また加筆修正版が伴名練編『新しい世界を生きるための14のSF』（ハヤカワ文庫JA）に収録）、直後に第9回創元SF短編賞を「天駆せよ法勝寺」で受賞。他の作品に「時は矢のように」（創元SF文庫『時を歩く』）、「アート・テロリスト」（小説すばる2020年10月号）など。またYouTubeで、日本とアジアのSF作品を英語で紹介するチャンネル「Sugoi Fushigi Show」のメンバーとして活動中。	

41	『紙魚の手帖 vol.18 Genesis』	A5判並製
	赤野 工作（あかの・こうさく）、阿部 登龍（あべ・とりゅう）、飛 浩隆（とび・ひろたか）、松崎 有理（まつざき・ゆうり）、宮澤 伊織（みやざわ・いおり）他	2024年8月
	2018年から22年まで単行本で刊行された書下ろしアンソロジーシリーズ《Genesis》が東京創元社の総合文芸誌『紙魚の手帖』（しみのてちょう）に合流！ 8月発売号をまるごとSFで彩る。創元SF短編賞受賞作、注目作家による書き下ろし短編、最新翻訳短編のほか、SFブックレビュー拡大版も。	

海外ミステリ Lineup for 2022 : Foreign Mysteries

42	『悪い男』 Myrká	四六判並製
	アーナルデュル・インドリダソン	柳沢 由実子 訳
	レイキャヴィクのアパートの一室で、刃物で喉を切り裂かれた若い男の死体が発見された。男はレイブドラッグと言われるクスリを所持しており、バーやレストランで出会った女性にクスリを混入した飲み物を飲ませて意識を失わせ、レイプしていた常習犯らしい。被害者による復讐か？ 犯罪捜査官エーレンデュルが行方不明のなか、同僚のエリンボルクは現場に落ちていた一枚のスクーフの香りを頼りに捜査を進める。世界のミステリ読者を魅了する北欧の巨人の人気シリーズ（犯罪捜査官エーレンデュル・シリーズ）第7弾。	
	著者紹介：1961年アイスランドの首都レイキャヴィク生まれ。父親は高名な作家インドリディ・G・トーステンソン。アイスランド大学で歴史学と映画を専攻し、新聞社に就職。その後フリーの映画評論家になる。97年にレイキャヴィク警察の犯罪捜査官エーレンデュルを主人公とするシリーズ第一作Synir duftsins で作家デビュー。3作目にあたる『湿地』と次の『緑衣の女』で2年連続してガラスの鍵賞を受賞。『緑衣の女』では、英国のCWAゴールドダガー賞も受賞している。	

43	『グリーン家殺人事件』【新訳版】 The Greene Murder Case	創元推理文庫
	S・S・ヴァン・ダイン	日暮 雅通 訳
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】発展を続けるニューヨークに孤絶して建つ、古色蒼然たるグリーン屋敷。そこに暮らす名門グリーン一族を惨劇が襲った。ある雪の夜、一族の長女が射殺され、三女が銃創を負った状態で発見されたのだ。物取りの犯行とも思われたが、さらに事件が発生し――。不可解な謎が横溢する難事件に挑む探偵ファイロ・ヴァンス。鬼気迫るストーリーと恐るべき真相で『僧正殺人事件』と並び称される不朽の名作が、新訳で登場！	
	著者紹介：アメリカの作家。1887年生まれ。本名はウィラード・H・ライトといい、美術評論家として一家を成していたが、病氣療養中に二千冊の推理小説を読破し、自らS・S・ヴァン・ダインの変名に隠れて創作の筆をとった。学究肌の探偵ファイロ・ヴァンスの登場する十二の作品は、すべて本文庫に収録されている。『グリーン家殺人事件』『僧正殺人事件』を頂点とする心理的探偵法で一世を風靡した。1939年没。	

44	『金庫破りとスパイの鍵』 ※仮題 The Key to Deceit	創元推理文庫
	アシュリー・ウィーヴァー	辻 早苗 訳
	第二次大戦下のロンドン。テムズ川で、鍵のかかったカメオ付きのプレスレットをつけた女性の遺体が発見された。陸軍のラムゼイ少佐からの依頼で、金庫破りのエリーはその錠を解錠する。カメオから見つかったものと女性が毒殺されていたことから、彼女はスパイ活動にかかわっていたと判明。エリーは少佐に協力し、殺人事件の犯人と、死んだ女性の背後にいるドイツのスパイを探りだすことに。手がかりは、女性が身につけていた宝石の原石と、小さな時計の巻き鍵だけ――。凄腕の金庫破りと堅物の青年少佐、正反対のふたりを描く人気シリーズ第2弾！	
	著者紹介：アメリカ、ルイジアナ州オークデール在住。14歳のときから図書館で働いており、現在もルイジアナ州アレン郡図書館に勤めている。2014年に『奥方は名探偵』で作家デビュー。同作は15年のアメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞最優秀新人賞の候補となった。21年に『金庫破りときどきスパイ』を刊行し好評を博す。	

45	The Librarian Always Rings Twice ※ 原題	創元推理文庫
マーティ・ウィンゲイト	藤井 美佐子 訳	2024 年内
わたし、ヘイリー・バークがバースにある初版本協会のキュレーターに就任してから1年が経とうとしていた。協会はミステリ黄金時代の女性作家の初版本取集家だった故レディ・ジョージアナ・ファウリングが設立したもので、彼女の自宅だったミドルバンク館にある。わたしと一緒に協会の運営を担っているのが、レディの長年にわたる親友で、個人秘書を務めていたミセス・ウルガー。現在は協会の終身事務局長だ。このたび、協会の認知度アップや新たな会員の確保を狙い、〈初版本図書館〉である図書室を週に一度、水曜日の午後だけ一般に公開する運びとなった。一方、レディのろくでなしの甥チャールズ・ヘンリー・ディルがわたしのアシスタントとして協会で働きたいと申し出てくる。レディが亡くなってから4年間というもの、あの手この手で遺産をかすめ取ろうと策略を働いてきたディルをおとなしくさせることができるならと、理事会は採用を決定してしまう。そんな折、レディの孫だと名乗る男が現われる。レディに子はいなかったはずだが……。		
著者紹介：アメリカのシアトル生まれ。ガーデニング関連の実用書を発表したのち、小説家に転向。イングランドを舞台に、テキサス出身の園芸家が活躍するコージームステリシリーズや、第二次世界大戦中の女性パイロットの活躍を描くGlamour Girls（2021）などを発表している。		

46	Debts of Dishonour ※ 原題	創元推理文庫
ジル・ペイトン・ウォルシュ	猪俣 美江子 訳	2024 年内
セント・アガサ・カレッジの卒業生で国際的大企業のカリスマ経営者、ジュリアス・ファランが死亡した。英国東部海岸の町イーストハムでアルコール依存症の高級療養施設〈ヘッドランズ〉に滞在していたところ、深夜の散歩中に崖から転落したのだ。妻と院長のランダム医師が遺体の身元を確認し、ファラン・グループの経営は娘婿のマックスが継承。世間の騒ぎも徐々におさまった。しかし、事件の数か月前、サー・ジュリアンはセント・アガサの晩餐会で酔っ払って転倒し、イモージェンの手当てを受けていたのだが、その冷静な対応に惚れ込んだサー・ジュリアンは、自分はさまざまな相手から命を狙われているのだと彼女に打ち明けていた……。『ウィンダム図書館の奇妙な事件』『ケンブリッジ大学の途切れた原稿の謎』に続く、〈イモージェン・クワイ〉シリーズ第3弾。		
著者紹介：1937年、ロンドンに生まれる。オックスフォード大学卒業。教員生活を経て『焼けあとの雑草』などの児童小説や、ブッカー賞の候補になったKnowledge of Angelsに代表される歴史小説を多数発表し、作家としての確固たる地位を築く。93年からは『ウィンダム図書館の奇妙な事件』に始まる〈イモージェン・クワイ〉シリーズを4作発表。2作目の『ケンブリッジ大学の途切れた原稿の謎』でCWAゴールドダガー賞候補に。さらに98年にドロシー・L・セイヤーズのピーター・ウィムジイ卿シリーズの公式続編であるThrones, Dominationsを刊行。以降シリーズを全4作発表し、好評を博した。2020年没。		

47	『薔薇の名前』【完全版】 Il Nome della Rosa	四六判単行本
ウンベルト・エーコ	河島 英昭・河島 思朗 訳	2024 年内
『薔薇の名前』にその後エーコ自身が細かい手なおしをしたものに、刊行後に著者自身が書いた覚書と、執筆時に彼が描いていたスケッチ（登場人物たちのポートレートや、文書館の見取り図など）を添えた完全版。		
著者紹介：1932年、北イタリア、アレッサンドリア生まれ。記号学者、文芸評論家、哲学者、文学者、作家。トリノ大学で中世美学、トマス・アキナスを研究。卒業後、イタリア放送協会（RAI）の文化番組や出版社ボンピアーニの評論部門に関わる。ミラノ大学、フィレンツェ大学を経て、ポローニャ大学の記号論の教授に就任。同大学名誉教授。著書に『薔薇の名前』、『ファーコーの振り子』、『ブラハの墓地』、『記号論』、『開かれた作品』、他多数。2016年没。		

48	『あの夏が教えてくれた』 Nothing More Dangerous	創元推理文庫
アレン・エスケンス	務台 夏子 訳	2024 年 3 月
ボーディはミズーリ州の田舎町で暮らす15歳の少年。父を亡くし母親と寂しい日々を送っている。高校に馴染めず、友達は一人もない。静かすぎるその町で最近大事件が起きた。町最大の企業〈ライク工業〉に勤める黒人女性が不審な失踪を遂げたのだ。捜査中の保安官が、ボーディが親しくしている隣人のホークを訪ねてきた。女性はかつてホークの部下で、ふたりのあいだには噂があったという。思いがけない事件が、ボーディの日常に不穏な影を落とす――。現実には悩みながらも、少年は鮮やかに成長する。『償いの雪が降る』の著者による心震える青春ミステリ！		
著者紹介：アメリカ、ミズーリ州出身。25年間、刑事専門の弁護士として働いてきた。デビュー作である『償いの雪が降る』は、バリー賞ペーパーバック部門最優秀賞など三冠を獲得し、エドガー賞、アンソニー賞、国際スリラー作家協会賞の各デビュー作部門でも最終候補となった。その他の著作に『たとえ天が墜ちようとも』『過ちの雨が止む』などがある。		

49	First Lie Wins ※ 原題	創元推理文庫
アシュリー・エルストン	法村 里絵 訳	2024 年秋
エヴィは、ルイジアナ州の小さな町にあるライアンの家で暮らし始めた。雇い主から、「エヴィという女になりすまし、ライアンについて出来る限り調べろ」という指令を受けている。ごく普通の好青年である彼に、いったいどんな秘密が？ エヴィのプロフィールを完璧に頭に入れて調査を続けていく。だがある日、長く町を離れていたライアンの幼なじみが、恋人を連れて現れた。自分にそっくりなその女性は、ルカと名乗った。それはエヴィの本名で、ルカが語った生い立ちも自分とそっくり同じだった……。嘘を武器とし、他人になりすまして生きてきた「私」を誰かが陥れようとしている？ 驚愕の結末が待つ、大型新人の傑作サスペンス登場！		
著者紹介：写真家として10年間働いたのち、専業作家を目指す。2013年にThe Rules for Disappearingでデビューし、国際スリラー作家協会最優秀YA部門賞を受賞した。ノース・ルイジアナに夫と3人の息子と住む。		

50	The Last Highway ※ 原題	創元推理文庫
R・J・エロリー	吉野 弘人 訳	2024 年夏～秋
保安官ヴィクターのもとに、弟が死んだという知らせが届いた。弟とは両親の死後、憎しみ合った果てに12年間会っていなかった。弟は車で何度も轢かれた跡があり、事故ではなく殺人だった。同じく保安官であった彼は何者かに恨まれていたのか？ ヴィクターは、弟の娘で、葬儀の場で初めて会った唯一の肉親である10歳の姪ジェニファーから、真相を調べてほしいと頼まれる。だがヴィクターは、弟がなんらかの不正取引に関与していたと聞かされる。――弟の死の真相を探ることは、弟の人生を知ることだ。死んだ弟と純粋でまっすぐな姪の存在が、男の灰色の人生を切なく鮮やかに彩っていく。『静かなる天使の叫び』の著者が贈る救いと再生のミステリ！		
著者紹介：1965年生まれ。父親は不在、母親とは7歳のときに死別し、祖母に育てられた。17歳のとき密猟で逮捕され服役しており、出所後はグラフィック・デザインや写真、音楽に身を投じる。87年から小説を書き始め、英国推理作家協会(CWA)のステイール・ダガー賞に2回ノミネートされている。主な著作に『静かなる天使の叫び』がある。		

51	『 悪魔のひじの家 』 The House at Satan’s Elbow	創元推理文庫	
	ジョン・ディクスン・カー	白須 清美 訳	2024年6月
	悪名高い故ワイルドフェア判事の旧宅である緑樹館は〈悪魔のひじ〉に聳え立つ。前当主クローヴィスの遺言により相続人に指名された孫のニックは、ほしくもない遺産を断乎拒否すべく、友人ガレットを伴い緑樹館を訪れた。折しも響き渡る、宵闇を切り裂く銃声。幸い現当主の命に別状はなかったが、幽霊目撃談の真偽は措いても館を覆う不穏な雰囲気は疑いようがない。ニックの助っ人になるはずのガレットは、わがごとくに心乱れて気もそぞろ。そこへ救世主さながら現れたギディオン・フェル博士とエリオット副警視長が電光石火の早業で事件を收拾する！		
	著者紹介：1906年アメリカ、ペンシルヴェニア州生まれ。30年に予審判事アンリ・バンコランが登場する『夜歩く』を発表。ギディオン・フェル博士シリーズの『帽子収集狂事件』、ノンシリーズの『皇帝のかぎ煙草入れ』のほか、カーター・ディクスン名義によるヘンリ・メリヴェール卿シリーズの『ユダの窓』など、オールタイム・ベスト級の傑作を次々ともなし、熱狂的な読者を獲得。〈不可能犯罪の巨匠〉と呼ばれる。77年没。		

52	『 Zの悲劇 』【新訳版】 The Tragedy of Z	創元推理文庫	
	エラリー・クイーン	中村 有希 訳	2024年秋
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】権勢を誇る一方で、悪どい噂も絶えない上院議員が何者かに刺殺された。容疑者として逮捕されたのは、前科者の男。警察を退職し、私立探偵となっていたサム警視と、彼を手伝う娘のペイシェンスは容疑者の無実を確信するが、死刑執行の日は刻一刻と迫る。助けを請われ、『Yの悲劇』以来10年ぶりに殺人事件の謎解きに挑む名優ドルリー・レーンは、真犯人を突き止めることができるのか？ 解決シーンの異様な迫力で名高い、レーン四部作の第三作を新訳版で贈る。		
	著者紹介：アメリカの作家。フレデリック・ダネイ（1905-82）とマンフレッド・B・リー（1905-71）の、いとこ同士による合同ペンネーム。1929年、出版社のコンテストに投じた長編『ローマ帽子の謎』でデビュー。同書を第一作とする〈国名シリーズ〉と、当初はバーナビー・ロス名義で発表されたドルリー・レーン四部作でミステリ界に不動の地位を得る。その後も作者と同名の名探偵が活躍する傑作をいくつも著し、ダネイは雑誌〈エラリー・クイーンズ・ミステリ・マガジン〉で多数の作家を世に送り出したほか、ミステリ研究者、アンソロジストとしても功績を残した。「アメリカの推理小説そのもの」と評された、巨匠中の巨匠である。		

53	『 夜明けを探す少女は 』 The Black Girls Left Standing	創元推理文庫	
	ジュリアナ・グッドマン	坏 香織 訳	2024年3月
	世の中には、夜になっても鍵をかけない家があるのを知ってる？——シカゴの高校に通う黒人の少女ポーは、卒業を機にこの街を出ると決めていた。絵の才能を活かし、盗みも撃ち合いもないどこか遠くへ行くのだ。そんなある冬の未明、姉のカティアが不法侵入の疑いで警官に射殺された。外の安全な世界をポーに語り聞かせてきた姉が、犯罪に手を染めるはずがない。ポーは姉の無実を証明するため、現場から消えた姉の恋人を探し始める。ひたむきな少女の調査行、そして成長と旅立ちを描く、アメリカ探偵作家クラブ賞最終候補作！		
	著者紹介：イリノイ州、ブルーアイランドで生まれ育つ。2014年に西イリノイ大学で芸術学の学位を、17年にバデュー大学からフィクションライティングの修士号を取得。22年The Black Girls Left Standing でデビューし、同作は23年のアメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞YA部門の最終候補作となった。現在はオーバーリン大学でクリエイティブライティングの教鞭を執っている。		

54	『 ミゼレーレ 』 Miserere	創元推理文庫	
	ジャン＝クリストフ・グランジェ	平岡 敦 訳	2024年夏
	パリの教会（サン・ジャン・バティスト聖堂）で、聖歌隊指揮者が不審な死を遂げた。たまたま教会内にいた、アルメニア人で引退した刑事カズダンが、捜査に加わる。そこに、薬物中毒で公的には休職中の若いロシア系刑事ヴォロキンが加わる。現場にあった靴跡から聖歌隊の少年が容疑者として浮かびあがり、死んだ指揮者の性的嗜好などが明らかになっていくが、事件は単純なものではなかった。死んだ指揮者は、チリからの亡命者でピノチェトの压制下から逃れてきたドイツ系の男だった。タイトル『ミゼレーレ』は、17世紀イタリアのアレグリがシステーナ礼拝堂の朝課の最後に歌うために作曲した聖歌で採譜が禁じられていたが、曲を聴いた14歳のモーツァルトが胸うたれて、記憶から楽譜を起こし、それが出版されて以来、禁令が撤廃されたというもの。この美しい曲、そしてナチスが研究していた音響兵器、南米のカルト教団……そこに二人のはぐれ者刑事の過去が複雑に絡み合った、グランジェらしいケレン味たっぷりの傑作ミステリ。		
	著者紹介：フランスの作家。1961年パリ生まれ。ソルボンヌ大学卒業後ジャーナリストとして世界各国を飛び回る。94年に『コウノトリの道』で小説家デビュー。第2作『クリムゾン・リバー』は映画化もされ、世界的ベストセラーとなった。		

55	『 二人で探偵を 』【新訳版】 Partners in Crime	創元推理文庫	
	アガサ・クリステイ	野口 百合子 訳	発売中
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】結婚して幸せな生活を送っていたトミーとタペンスは、上司のミスター・カーターからある提案を受ける。英国に対するスパイ活動が疑われる〈国際探偵社〉の経営者になりすまし、秘密情報部のために探偵業をしてみないかというのだ。そんなわけで探偵社を引きついだ夫婦のところには難事件、怪事件、そして珍事件の数々が持ちこまれ、トミーとタペンスは古今東西の名探偵の捜査法を真似て事件を解決する。ミステリの女王がおくるコンビ探偵ものの白眉、新訳決定版。		
	著者紹介：1890年生まれの英国ミステリ作家。1902年に『スタイルズ荘の怪事件』でデビュー以来、長短編あわせて80冊を超える作品を発表した。代表作は『アクロイド殺害事件』『オリエント急行の殺人』など。彼女の創造した名探偵にエルキュール・ポワロやミス・マーブルなどがある。76年没。		

56	『 チムニーズ館の秘密 』【新訳版】 The Secret of Chimneys	創元推理文庫	
	アガサ・クリステイ	山田 順子 訳	2024年8月
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】南アフリカで観光ガイドをしていた青年アンソニー・ケイドは偶然出会った友人から仕事を頼まれる。バルカン半島の小国の元首相の手記をロンドンの出版社に届けて欲しいというのだ。冒険心をくすぐられ引き受けたケイドだったが、実は友人からの頼み事はもうひとつあった。イギリスでも有名な大邸宅チムニーズ館に滞在中の婦人に、あるものを届けて欲しいというのだ。折しもチムニーズ館には政府の高官、経済界の大物らが集まっていた。だが、そこで殺人事件が発生、ケイドも巻き込まれることに……。ミステリの女王が描く冒険活劇、新訳で復活。		

57	『 クリスティ書店の事件簿 』※ 仮題 Dead and Gondola	創元推理文庫
	アン・クレア	谷 泰子 訳
	<p>ここは美しい雪山の書店（ブック・シャレー）。故郷に帰ってきたエリーは、姉のメグと看板猫のアガサとともにミステリ好きの集うこの書店を切り盛りしていた。ある日、山腹と麓をつなぐゴンドラのなかで男の刺殺体が発見される。男は死の直前に店を訪れ、クリスティ『春にして君を離れ』のサイン入り初版本を残しており、時を同じくして店からは従業員の女性が姿を消した。ふたつの事件には関係が？ エリーは否応なく推理を働かせることになり……。探偵役も容疑者もミステリ好きばかり。謎と雪が降り積もる書店を舞台に贈る新ミステリシリーズ！</p>	
	<p>著者紹介：2022年、本作で小説家デビューを果たす。趣味はハイキング、ガーデニング、家猫の世話、そしてミステリを読むこと（特にアガサ・クリスティ）。現在はキッチン窓から雪山を仰ぎ見るコロラド州の住居で、地理学者の夫と暮らしている。</p>	

58	『 クリスティ書店の事件簿2 』※ 仮題 Last Word to The Wise	創元推理文庫
	アン・クレア	谷 泰子 訳
	<p>ここは美しい雪山の書店（ブック・シャレー）。エリーとメグは看板猫のアガサとともにこの書店を切り盛りする姉妹だ。ふたりはある日、本好き同士を本の好みごとに引き合わせるマッチング事業のモニターに選ばれる。メグはジョーという男性と話が弾み、デートの予定をとりつけるが、待ち合わせ場所に彼は現れなかった。不審に思い家を訪ねてみると、火かき棒で殴り殺された彼の死体が！ 姉妹はまたも推理を働かせることになり……。</p>	

59	『 受験生は謎解きに向かない 』 Kill Joy	創元推理文庫
	ホリー・ジャクソン	服部 京子 訳
	<p>高校生のビップにある招待状が届いた。試験が終わった週末、友人宅で架空の殺人の犯人当てゲームが開催されるという。舞台は1924年、孤島に建つ大富豪の館という設定で、参加者は同級生とその兄の7人。開始早々、館の主の刺殺死体が発見される。当初は乗り気ではなかったビップだが、次第にゲームにのめり込んでいき……。爽やかで楽しい『自由研究には向かない殺人』三部作前日譚！</p>	
	<p>著者紹介：イギリス、バッキンガムシャー出身の作家。子どものころから物語を書きはじめ、15歳で最初の小説を完成させた。ノッティンガム大学で言語学と文芸創作を学び、英語の文学修士号を取得。2019年に刊行したデビュー作『自由研究には向かない殺人』は英米でベストセラーとなり、20年のブリティッシュ・ブックアワードのチルドレンズ・ブック・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、カーネギー賞の候補作となった。続編に『優等生は探偵に向かない』『卒業生には向かない真実』がある。その他の著作はFive Survive（2022）。現在はロンドンに住む。</p>	

60	『 ノー・カントリー・フォー・ガールズ 』※ 仮題 No Country For Girls	創元推理文庫
	エマ・スタイルズ	坏 香織 訳
	<p>喧嘩で高校を退学になったばかりの少女チャーリーは、自宅の前でナオという血まみれの少女に呼び止められ、ひと晩泊めてくれと頼まれる。ナオと共に家に入ると、姉の暴力的な恋人ダリルが待ち構えていた。盗んだ黄金を返せ——ダリルに詰め寄せられたチャーリーは、抵抗の果てに彼を殺してしまう。警察の介入を嫌うナオの提案で二人が湖に死体を捨て家に戻ると、ダリルの仲間と思しき人影が見えた。帰る場所をなくした二人はダリルのピックアップトラックを盗み、陽光降り注ぐオーストラリアを北へ、安全な場所を目指して走り出す。しかし座席の下に隠された黄金が、二人をさらなる血と暴力へと導いていき——。衝動的なチャーリーと理性的なナオ。炎天下の旅路で、それぞれに葛藤を抱えた正反対の二人が相棒となり、血を踏み越えて走り続けるノンストップのクライム・サスペンス！ 23年CWA賞最終候補、ウィルバー・スミス冒険小説賞受賞作。</p>	
	<p>著者紹介：ロンドン生まれ、オーストラリアのバース育ち。現在は再びロンドンで暮らす。デビュー作のNo Country For Girlsはイーストアングリア大学の犯罪小説賞を2020年に受賞し、23年CWA賞ジョン・クリーシーダガー部門の最終候補作となったほか、オーサーズ・クラブ最優秀デビュー小説賞ロングリストに選出、ウィルバー・スミス冒険小説賞を受賞するなど、極めて高い評価を受けている。</p>	

61	『 プレイバック 』 Playback	創元推理文庫
	レイモンド・チャンドラー	田口 俊樹 訳
	<p>【名作ミステリ新訳プロジェクト】フィリップ・マーロウが依頼を受け、ユニオン駅で特急から降りた女を尾行する。彼女は駅で男と話した後、サンディエゴまで行き、ホテルに宿泊した。彼女を追って同じホテルにマーロウが泊まると、部屋に女が現われ、彼女の部屋のベランダに駅で話していた相手の男の死体があると言う。しかし、マーロウが部屋を訪ねてみると男の死体は消えていた。「しっかりしていなかったら、生きていられない。やさしくなれなかったら、生きている資格がない」（清水俊二訳）というハードボイルドの代名詞ともいべきマーロウの台詞は、その後、生島治郎がハードボイルドとは何かを語る際にしばしば引き合いに出し角川映画『野性の証明』で生島の訳を元に「男はタフでなければ生きて行けない。優しくなれなければ生きている資格がない」として使われ定着した。</p>	
	<p>著者紹介：1888年アメリカ、シカゴ生まれ。両親の離婚後、母親とともにイギリスに渡る。ロンドンのパブリックスクールで教育を受け、英国籍取得。海軍省勤務、新聞記者を経て、1912年にアメリカに戻る。39年発表の『大いなる眠り』はフィリップ・マーロウものの第一長編。59年没。</p>	

62	『 P分署捜査班 子犬 』※ 仮題 Cuccioli	創元推理文庫
	マウリツィオ・デ・ジョバンニ	直良 和美 訳
	<p>ピッツォファルコーネ署近くのゴミ箱に遺棄された赤ん坊を発見したのは、内なる暴力衝動をおさえられないロマーノ巡査長だった。病院に運ばれた赤ん坊はなんとか一命をとりとめ、捜査班の面々は母親を見つけようと動き出す。ところが、副署長のビザネッリが発見した手がかりから捜査は意外な方向へ。時を同じくして、市中のペットや野良犬が何物かに連れ去られる事件が立て続けに起きていて……。『集結』『誘拐』『寒波』に続く〈21世紀の87分署〉シリーズ第4弾！</p>	
	<p>著者紹介：1958年ナポリ生まれ。銀行に勤めるかたわら応募した文学コンテストで高く評価され、2006年に長編Le lacrime del pagliaccioで本格的に作家デビュー。同書を第一作とする〈リチャルディ警視〉シリーズと、ロヤコーノ警部を主人公に13年刊の『P分署捜査班 集結』から開始した〈P分署捜査班〉シリーズのふたつで知られる。〈P分署捜査班〉は17年より本国イタリアで連続テレビドラマの放送が始まった。</p>	

63	『 スケープゴート 』※ 仮題 The Scapegoat	創元推理文庫
	ダフネ・デュ・モーリア	務台 夏子 訳
		2024 年秋
	イギリスの大学教授ジョンは、休暇先で訪れたフランスのトゥールで自分と瓜二つの富豪ジャンと巡り会う。自分の人生のむなしさと人間関係の希薄さに思い悩んでいたジョンは、逆に家族という束縛から逃げ出したいというジャンと酒を飲むうちに意識を失う。翌朝、モーテルで目覚めてみると、ジョンはジャンの持ち物とともに置き去りにされていた。程なく運転手が迎えに現れ、ジョンはジャンの悪質なジョークに腹を立てながらも、ジャンの身代わりを演じることにする。ジャンとして城でくらすうちに様々な問題が明らかになる。だが、事態は好転したと思ったときジャンが帰ってくるとの連絡が……。人間の心の奥底をのぞき込むような切れ味が光る、長編サスペンス。	
	著者紹介：1907年ロンドン生まれ。祖父が高名な作家で画家、父が舞台俳優兼演出家、母が舞台俳優という芸術家一家の三人姉妹の次女として生まれる。31年作家デビュー、38年の『レベッカ』が世界的なベストセラーとなった。コーンウォールの荒々しい自然を愛し、夫との間に三人の子どもをもうけた。89年没。	

64	『 嵐にも負けず 』※ 仮題 Hurricane Force	創元推理文庫
	ジャナ・デリオン	島村 浩子 訳
		2024 年 4 月
	新町長シーリア就任のせいで、シンプルの町はいまだ落ち着かない。長年、行方不明だったシーリアの怪しい夫も現われ、不穏さは増すばかり。そんななか、ハリケーンが襲来、困難な状況をあまたくぐり抜けてきたフォーチュンも、自然災害にはお手上げだ。なんとかやり過ごしてほっとしたのもつかの間、嵐はとんでもない置き土産を残していつていた……。今度は、偽札に殺人?!フォーチュンに公私ともども最大級の危機が迫る！ 破天荒すぎな老婦人ふたりの助けを借りて、フォーチュンは町と自分の窮地を救えるか？ 好評〈ワニ町〉シリーズの第7弾！	
	著者紹介：ルイジアナ州カルカシュー郡カーライスに生まれる。2006年に長編Rumble on the Bayouで作家デビュー。現在はテキサス州ダラスに住み、ルイジアナを主な舞台としたミステリのシリーズを複数執筆している。	

65	『 終着点 』※ 仮題 This Is How It Ends	創元推理文庫
	エヴァ・ドーラン	玉木 亨 訳
		2024 年 6 月
	建て替えて立ち退きを迫られ、住民がほとんどいなくなったロンドンの集合住宅。その空き部屋のひとつで、ある晩、若い女性が男を殺してしまい、親しくしている年輩の女性に助けを求める。ふたりは協力して男の死体をエレベーターシャフトに投げこみ、それが事故死として処理されることを願うが、年輩の女性は若い女性の説明にいくつかの矛盾点があることに気づき、しだいに疑心暗鬼に陥っていく。はたして若い女性の言葉はどこまで信用できるのか？ 彼女が殺した男はいったい何者だったのか？ ひとつの殺人を起点に、過去へとさかのぼっていく章と、現在がそのまま進行していく章とが交互に展開され、事件を取り巻く状況がすこずつあらわになる。そして最後、ふたりの女性がいきついた先に待っていたのは……。英国ミステリ界の新鋭が放つ衝撃作！	
	著者紹介：イギリス出身。エセックス州を拠点にコピーライターやポーカーのプレイヤーとして活躍。ティーンエイジャーの頃に未発表作を対象とした英国推理作家協会（CWA）賞デビューダガーの最終候補になる。警察小説Long Way Homeでデビューし、同シリーズ3作目がCWAゴールドダガーの候補作となっている。	

66	『 Smoke in the Wind （ 修道女フィデルマ・シリーズ 10 ）』※ 原題	創元推理文庫
	ピーター・トレメイン	田村 美佐子 訳
		2024 年夏
	新任のカンタベリー大司教を訪問するために、良き相棒エイダルフと共に船に乗っていたフィデルマは、嵐に遭ってウェールズの沿岸に漂着してしまった。ウェールズのGwlyddien王国の国王に助けられたものの、王はフィデルマがアイルランドの高名なドリーリーと知って、王国で起きた不可解な事件を解いて欲しいと依頼してきたのだ。国王の長男も属していた修道院の人々がまるごと消えてしまったというのだ。そしてフィデルマとエイダルフの前に、一見修道士たちが消えた事件とはなんの関係もなさそうな、地元の少女殺害という事件が。だがその背後には想像もつかないような恐ろしい真相が……。シリーズ長篇10作目。	
	著者紹介：1943年英国生まれ。本名はピーター・ベレスフォード・エリス。ケルト関係の学術書を多く著し、学会の会長や理事を務める著名なケルト学者である。小説家としても精力的に活動しており、ピーター・トレメイン名義の代表作〈修道女フィデルマ〉シリーズをはじめ、ホラーやスリラーなども刊行している。	

67	『 飛蝗（ばった）の農場 』【 新装版 】 The Locust Farm	創元推理文庫
	ジェレミー・ドロンフィールド	越前 敏弥 訳
		発売中
	【ベスト1ミステリ・セレクション】ヨークシャーの荒れ野で農場を営むキャロルのもとに、奇妙な男が転がりこむ。不運な経緯から彼女は男に怪我を負わせ、回復までの宿を提供することにしたのだが、意識を取り戻した男は、過去の記憶がまるでないと言う。幻惑的な冒頭から忘れがたい結末まで、圧倒的な筆力で紡がれる悪夢と戦慄の謎物語。ミステリランキング2冠に輝く、驚嘆のデビュー長編！	
	著者紹介：イギリスの作家。1965年、ウェールズ南部に生まれる。98年、『飛蝗の農場』で小説家デビュー。同書は英国推理作家協会（CWA）最優秀デビュー長編賞の最終候補作となり、日本でも各種ランキングの1位に選出された。その他の小説に『サルバドールの復活』（1999）などがある。十余年におよぶ執筆活動の中断を経て、2015年に歴史ノンフィクション作家として再デビュー。以降、精力的に活動している。	

68	『 豪華客船の殺人 （ ジェーン・ヴァンダリー・トラベルミステリ3 ）』※ 仮題 Danger on the Atlantic	創元推理文庫
	エリカ・ルース・ノイバウアー	山田 順子 訳
		2024 年 6 月
	叔母のミリーを恋人と娘の住む英国に残しひとりアメリカへの帰国の途についたジェーン。だがニューヨークへ向かう大西洋の旅もなぜか波乱にみちたものに……。いきがかり上、気になるが秘密主義なのが気に障る（英国政府の情報機関の所属らしい）レドヴァースと、夫婦のふりをして、ドイツのスパイと噂される人物を探る羽目になってしまう。ところが、乗客のひとりが忽然と姿を消してしまう。スパイの件と関係があるのか？ アガサ賞デビュー長篇賞受賞シリーズ。旅情豊かなコージーミステリ第3弾。	
	著者紹介：11年間軍隊で、2年間で警察官として、1年弱を高校の英語教師として過ごしたのちに、作家となった。デビュー作『メナハウス・ホテルの殺人』が2020年アガサ賞の最優秀処女長編賞を受賞、以来21年に2巻目『ウェッジフィールド館の殺人』を刊行、22年には3巻目にあたる本書を刊行と順調に書き進めている。現在ウィスコンシン州ミルウォーキーに夫と共に暮らしている。	

69	『友情よここで終われ』<div>In ewiger Freundschaft</div>	創元推理文庫
	ネレ・ノイハウス	酒寄 進一 訳
	発売中	
	著名な文芸編集者であるハイケが失踪した。彼女の家のドアには血の跡があり、二階には鎖でつながれた老人がいた。捜査が始まり、老人は彼女が介護していた父親だと判明、血痕はハイケのものと断定された。彼女に作品の剽窃を暴露されたベストセラー作家が被疑者に浮かぶが、出版社社長をはじめ、怪しい人物が増えていく。さらに、ハイケと親しい人物が昏睡状態で発見され……。出版業界をめぐる泥沼の事件に刑事オリヴァー&ピアが挑む！	
	著者紹介：1967年、ドイツ、ミュンスター生まれ。2005年に初の長篇ミステリUnter Haienを自費出版した。〈刑事オリヴァー&ピア〉シリーズ第1作『悪女は自殺しない』と次作『死体は笑みを招く』も自費出版し、地元の書店で絶大な人気を博す。その後、評判を聞きつけた老舗出版社ウルシュタイン社からの出版が決定し、09年正式にデビューした。『深い疵（きず）』『白雪姫には死んでもらう』を含む同シリーズは、現在本国で11作目まで刊行されている。	

70	『最上階の殺人』<div>Top Storey Murder</div>	創元推理文庫
	アントニイ・バークリー	藤村 裕美 訳
	2024年2月	
	【名作ミステリ新訳プロジェクト】閑静な住宅街、四階建てフラットの最上階で高齢女性の絞殺死体が発見されたとの報を受け、モーズビー首席警部率いる捜査班は現場に急行した。室内はひどく荒らされ、裏庭に面した窓に脱出用のロープが下がっている状況から、警察は物盗りの犯行と断定、容疑者を絞り込んでいく。しかし警察の捜査を実地に見学しようと同行了たロジャー・シェリンガムは、建物内に真犯人がいると睨み、被害者の姪を秘書に雇うと調査に乗り出す。探偵小説本来の謎解きの魅力と、才気溢れるユーモア、痛烈な批判精神が奇跡的な融合を果たしたシリーズ屈指の傑作。	
	著者紹介：1893年イギリスのハートフォードシャー生まれ。第一次世界大戦に従軍後、ユーモア作家として〈パンチ〉誌で活躍。「？」名義で『レイトン・コートの謎』を著して以降、『毒入りチョコレート事件』『第二の銃声』『ジャンピング・ジェニイ』など、従来の探偵小説に対する批判を織り交ぜた実験精神あふれる作品を発表。英国本格ミステリ黄金期を代表する作家としてその地位を不動のものとした。他の作品に、フランシス・アイルズ名義で発表したサスペンス『殺意』『レディに捧げる殺人物語』などがある。1971年没。	

71	Under Lock & Skeleton Key ※ 原題	創元推理文庫
	ジジ・バンディアン	鈴木 美朋 訳
	2024年夏	
	主人公のテンベスト・ラージはマジシャン一家の末裔。かつては大スターだったが、不幸な出来事によって引退を余儀なくされ、父の経営する会社を手伝うことになった。その会社とは、隠し部屋や風変わりな仕掛けのある住宅の建築やリフォームを専門とする〈秘密の階段建築社〉。今日の仕事は、築百年以上たっている屋敷のリフォームだったが、テンベストはバントリーに入ったとたん、ぞくりとした。この部屋はどこかおかしい。案の定、壁の中から死体が発見される。壁の中の空間は少なくとも数十年は密閉されていたはずなのに――。秘密の小部屋や謎めいた階段などに心ひかれたことのある人へ贈る、新シリーズ開幕！	
	著者紹介：作家。著作にAccidental Alchemist mysteries、Jaya Jones Treasure Hunt mysteriesなどがあり、アガサ賞、アンソニー賞、レフティ賞、デリンジャー賞を受賞したほか、MWAの最終候補になった経験もある。現在は北カリフォルニアに夫と暮らす。	

72	Good Bad Girl ※ 原題	創元推理文庫
	アリス・フィーニー	越智 睦 訳
	2024年6月	
	八十歳のエディスはケアハウスで暮らしていた。娘のクリオとは疎遠だが、介護職員として働く十八歳のベイシェンスとは、世代はちがえど友情を築いている。ベイシェンスも、一緒に暮らしていた母親と喧嘩して家出てきた身だった。そんなある日、ケアハウスの所長が何者かに殺害される。実は、数カ月前にもここでは別の入居者が不審な死を遂げていて……。『彼と彼女の衝撃の瞬間』『彼は彼女の顔が見えない』のどんでん返しの女王が贈る傑作サスペンス！	
	著者紹介：BBCで15年間、記者やプロデューサーとして勤務したのち、2017年に『ときどき私は嘘をつく』でデビュー。同書は20以上の言語に翻訳され、ベストセラーとなった。現在はロンドン近郊のサリー州で夫と愛犬と暮らす。	

73	『スリー・カード・マードー』<div>Three Card Murder</div>	創元推理文庫
	J・L・ブラックハースト	三角 和代 訳
	2024年3月	
	被害者は、空から降ってきた。落下したと思われたフラットの5階の部屋は無人で、玄関ドアは内側から釘と板で封じられていた。この不可解な密室殺人を捜査するのは、サセックス警察重大犯罪班のテス・フォックス警部補。しかし彼女は、現場の壁にダーツで止められていたチラシを見て愕然とする。それはかつて、妹を救うために自分が犯した殺人を示唆していた。いまは詐欺師として生きる異母妹のために……。密室殺人×警察小説の新シリーズ開幕！	
	著者紹介：消防署と小売経営の管理者として勤務した後、デビュー作の How I Lost Youをジェニー・ブラックハースト名義で発表。以来7冊の心理サスペンスを上梓している。デビュー作はニールセン賞銀賞に輝き、イギリス国内におけるKindleのナンバーワン・ベストラー、ドイツではシュピーゲル誌のベストセラーとなった。現在は生まれ育ったウエスト・ミッドランズのシュロップシャーで夫、ふたりの息子、2匹のビーグル犬と暮らしている。	

74	『ブックスパイ』 ※ 仮題 <div>The Book Spy</div>	四六判単行本
	アラン・フラド	高山 祥子 訳
	2024年夏	
	真珠湾攻撃の二週間後、ルーズベルト大統領はIDC――外国出版物取得部門間委員会を設立した。これは図書館司書をヨーロッパの中立国へ派遣し、枢軸国の書籍をマイクロフィルム化して本国へ送らせ、その情報を分析する機関である。ニューヨーク公共図書館で働くマリアはその一員に任命され、リスボンへと旅立つことになった。彼女は報道写真家の母親をスペイン内戦で亡くしており、戦争を終結させたいという強い想いを抱いていたのだ。一方リスボンでは、書店を営むティアゴという青年が、書類偽造の天才である店員ローザと共にユダヤ人避難のための秘密活動を行っていた。マリアは二人の助けを得て文書を収集する傍ら、ナチ親衛隊に虚偽情報を流す二重スパイとして戦争に深く関わっていく。戦時のリスボンを舞台に、スパイの密命を帯びた図書館司書の活躍を描く、心揺さぶる傑作長編！	
	著者紹介：オハイオ州在住の作家。歴史小説協会会員。2019年、第二次世界大戦下での伝書鳩を用いた作戦行動を題材にしたThe Long Flight Homeでデビュー。本作は第4長編。	

75	『 白薔薇殺人事件 』※ 仮題 How to Solve Your Own Murder	創元推理文庫
	クリスティン・ペリン	上條 ひろみ 訳
	ミステリ作家の卵であるアニーは、大叔母からキャッスルノール村の屋敷に招かれた。大叔母は16歳のときに占い師から告げられた「いつかおまえは殺される」という予言を信じ続けており、大邸宅に住む奇妙な老婦人として知られている。アニーが屋敷を訪れると、書斎で大叔母が死んでいた。両手には血の痕があり、床には茎の長い白薔薇が落ちていた。かつての予言通りに殺害されてしまった大叔母が、予言が的中したときのために約60年をかけて集めた村人たちの調査記録をもとに、アニーは犯人探しに挑む。新鋭が贈る犯人当てミステリの大傑作！	
	著者紹介：アメリカのワシントン州シアトル出身。書店勤務のあとイギリスに渡り、修士号と博士号を取得。家族とともにサリーに住み、村の書店をのぞいたり、ふたりの子どもたちと泥のなかを歩きまわったり、大量の植物を採集したりする日々。中学年向け小説Attie and the World Breakersはドイツ、オランダ、ポーランド語に翻訳されている。	

76	『 Vicious Circle（猟区管理官ジョー・ピケット・シリーズ） 』※ 原題	創元推理文庫
	C・J・ボックス	野口 百合子 訳
	猟区管理官ジョー・ピケットのもとに、過去に何度か関わったファーカスから電話があった。留守電に残されていたのは、バーでダラス・ケイツと3人の男女のジョーを襲う計画らしきものを盗み聞いたという警告だった。ダラスはかつてジョーに家族を逮捕され、強烈な恨みを抱いていた。翌日、ファーカスが行方不明になったと判明する。ジョーは空からの捜索に同行し、熱源探知装置でファーカスらしき男が謎の3つの人影に追われて発砲された場面を目撃する。その後遺体を発見し、犯人を捜しはじめるが……。	
	著者紹介：アメリカのワイオミング州生まれ。2001年、猟区管理官のジョー・ピケットを主人公にした『沈黙の森』で作家デビューし、アンソニー賞、マカヴィティ賞、ガムシュー賞、バリー賞各賞の新人賞を受賞した。エドガー賞最優秀長編賞を受賞した『ブルー・ヘヴン』のほか、猟区管理官ジョー・ピケット・シリーズの『発火点』『越境者』『嵐の地平』『熱砂の果て』など著書多数。	

77	『 Close to Death 』※ 原題	創元推理文庫
	アンソニー・ホロヴィッツ	山田 蘭 訳
	テムズ川沿いのリッチモンドはロンドンで最も理想的な住環境を誇る地区である。当該地区にある閑静なゲーテッド・コミュニティたるリヴァービュー・クロースにいたっては、住人に完璧な生活を約束するといってよかった——ジャイルス・ケンワージーが、その妻、嫉みできていない子供、四台の邪魔な超大型車、やかましい取り巻き、庭にプールを新設する計画とともに引っ越してくるまでは。だからケンワージーがクロスボウで首を射抜かれ死亡したとき、関係者全員が容疑者とされたのは当然の成り行きだったのだ。捜査が行き詰まり、警察はしぶしぶ元刑事のダニエル・ホーソーンを招聘する。しかしホーソーンをもってすら、この事件は解決不可能に思われた——。舞台は大都会の中の閉鎖空間ともいえる、ロンドンのゲーテッド・コミュニティ。そこで発生した、関係者全員が同じ動機を持っている事件は、どうやったら解決できるのか？ 『メインテーマは殺人』『その裁きは死』『殺しへのライン』『ナイフをひねれば』に続く人気シリーズ第5弾。	
	著者紹介：イギリスを代表する作家。ヤングアダルト作品〈女王陛下の少年スパイ！ アレックス〉シリーズがベストセラーに。また、人気テレビドラマ『刑事フォイル』の脚本、コナン・ドイル財団公認の〈シャーロック・ホームズ〉シリーズの新作長編『シャーロック・ホームズ 絹の家』などを手掛ける。アガサ・クリスティへのオマージュ作『カササギ殺人事件』では『このミステリーがすごい!』『本屋大賞〈翻訳小説部門〉』の1位に選ばれるなど、史上初の7冠を達成。その続編の『ヨルガオ殺人事件』も絶讃を博した。また、〈ホーソーン&ホロヴィッツ）シリーズ『メインテーマは殺人』『その裁きは死』でも、年末ミステリランキングを完全制覇している。	

78	『 有名すぎて尾行ができない 』 The Day That Never Comes	創元推理文庫
	クイーム・マクドネル	青木 悦子 訳
	平凡すぎる顔が特徴の青年ポールは、恋人のブリジット、元警官のバニーと探偵事務所を始めることにした。さっそく、謎の美女が依頼に訪れる。彼女は国中が注目する不動産開発詐欺事件の被告人三人組のひとりの愛人で、その男の浮気調査をしてほしいと言う。ポールは依頼を引き受けたが、相手を尾行しては見失っているうちに、またも殺人事件に巻きこまれてしまい……。『平凡すぎて殺される』に続く大好評ノンストップ・ミステリ第2弾！	
	著者紹介：アイルランドのリムリック生まれ、ダブリン育ち。小説家、TVの放送作家、コメディアン。〈ダブリン三部作（トリロジー）〉シリーズ、〈バニー・マガリー〉シリーズなど、ダブリンやマンチェスターを舞台にしたミステリや犯罪小説を執筆している。『平凡すぎて殺される』は2017年に、アイルランドのインディペンデント出版を奨励するCAPアワードの最優秀長編小説部門にノミネートされた。	

79	『 騙し絵の檻 』【 新装版 】 The Stalking Horse	創元推理文庫
	ジル・マゴーン	中村 有希 訳
	【ベスト1ミステリ・セレクション】無実だとの叫びもむなく、ビル・ホルトは冷酷な殺人犯として投獄された。それから十六年後、仮釈放された彼は真犯人を捜し始める。自分を罠に嵌めたのは、誰だったのか？ 次々に浮かび上がる疑惑と仮説。そして、終幕で明らかにされる驚愕の真相！ 識者により、2000年代の10年間に翻訳された海外本格ミステリの頂点に選ばれた、犯人当ての大傑作。	
	著者紹介：イギリスの作家。1947年生まれ。83年にロイド警部とジュディ・ヒル部長刑事が活躍するシリーズの第1作『パーフェクト・マッチ』を刊行、作家デビューする。その後は同シリーズを中心にミステリを執筆した。日本では特にノンシリーズ長編『騙し絵の檻』の評価が高い。そのほか翻訳された作品に『牧師館の死』『踊り子の死』、エリザベス・チャップリン名義の『幸運の逆転』がある。2007年没。	

80	『 The Dark That Doesn't Sleep 』※ 原題	創元推理文庫
	サイモン・モックラー	富田 ひろみ 訳
	1967年の末。精神科医のジャックは陸軍医療センターに呼び出される。旧知のCIA幹部からの依頼で両手と顔に包帯を巻かれた男、コナーの話を聴くためだ。コナーは、陸軍がグリーンランドの分厚い氷の下に建設した極秘基地で発生した火災の唯一の生存者で、他に隊員2名が死亡していた。出火場所は発電室で、不可解なことにいっぽうは人の形を残しているが、もう一方は灰と化してしまっていた。コナーは出火原因も彼らが巻き込まれた経緯も知らないと言う。謎の火災の真相を調べるうちに、ジャックは想像を絶する事態に巻きこまれていき……。冷戦時代を舞台に謎と陰謀が渦巻く、手に汗握る圧巻のサスペンス！	
	著者紹介：ケンブリッジ大学とロンドン芸術大学のキャンパーウェル・カレッジ・オブ・アーツで学び、アーティスト、ミュージシャン、教師、公務員などさまざまな職種に就いた。2019年に児童書Beatrix the Bold and the Curse of the Wobblersを刊行した。現在はサウス・ロンドンに妻とふたりの子供と住む。本書は大人向けミステリのデビュー作。	

81	『 The Unkept Woman（ロンドン謎解き結婚相談所 4） 』※ 原題	創元推理文庫
	アリスン・モントクレア	山田 久美子 訳
	1946年、戦後ロンドン。〈ライト・ソート結婚相談所〉の経営者のひとりアイリスは、出勤前にバーガンディ色のコートの女に尾行されていると気づく。アイリスは戦時中に情報部に所属し、スパイとして働いていた。その際の活動に関係しているのか？ アイリスは共同経営者で貴族のグウェンの家に数日泊めてもらうことにするが……。対照的な女性コンビが仕事と殺人事件の調査に奔走する大人気シリーズ第4弾！	
	著者紹介：アガサ・クリスティのペーパーバックと、ジェームズ・ボンドものの映画にのめりこんで育った結果、犯罪小説やスパイ小説に夢中になり、現在は史実の謎めいた断片から着想を得て小説を執筆している。2019年に『ロンドン謎解き結婚相談所』でデビュー。続編に『王女に捧ぐ身辺調査』『疑惑の入会者』など。	

82

When There Were 9 (マードー・ミステリ・ブッククラブ4) ※原題		創元推理文庫
C・A・ラーマー	高橋 恭美子 訳	2024 年冬
<p>クリスティ好きが集まった〈マードー・ミステリ・ブッククラブ〉のメンバーは、新メンバー加入の顔合わせと読書会も兼ねて、人里離れた山の上にある古風な山荘〈ライルズ・ロッジ〉に向かった。読書会の発起人アリシアとリネットの姉妹、旧メンバーの3人に新メンバー4人の総勢9人だ。1930年築のロッジは往時を偲ばせる雰囲気たっぷりの重厚な造りだ。スタッフは支配人料理人の2人で、滞在中の面倒を見てくれる。だが、翌日の朝、ロッジの支配人がベッドで死んでいた。どうやら毒を注射されたらしい。さらに、山の中腹で火事が発生。そして料理人も殺されて……。この山荘でいったい何が起きているのか？ 犯人は読書会のメンバーなのか？ クリスティへの愛が詰まったシリーズ4作目。</p>		
<p>著者紹介：ジャーナリスト、雑誌編集者、教師。著作は〈マードー・ミステリ・ブッククラブ〉シリーズが4作、〈ゴーストライター〉シリーズが7作、ノンフィクションが数冊。熱帯地方で生まれ育ち、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨークで数年働いたのち、現在はミュージシャンの夫と息子ふたりと生意気な牧畜犬一頭とたくさんのコアラや蛇と共に、オーストラリアのニューサウスウェールズ州北部バイロン・ベイに住んでいる。</p>		

83

『罪なくして』 ※仮題 Ohne Schuld		創元推理文庫
シャルロット・リンク	浅井 晶子 訳	2024 年 10 月
<p>『裏切り』、『誘拐犯』に続く、ケイト・リンヴィル・シリーズの第3弾。ケイトはついにスコットランドヤードを辞めて、ケイレブに乞われて故郷のヨークシャーに戻り、スカボロー署で働くことに。同僚からの饞別で旅をしたケイトは、列車内での奇妙な事件に巻き込まれる。一方ケイレブのアルコール依存は相変わらず。絡み合う人間関係と、それぞれの苦しみ……。人間を描く力量と、事件展開の意外性は前2作同様、息を呑むほど。シャルロット・リンクらしさ全開です。</p>		
<p>著者紹介：1963年ドイツのフランクフルト生まれ。大学進学前、19歳で歴史小説家としてデビュー。大学では法学を学ぶ。99年刊行の『姉妹の家』で初めて「シュビーゲル」誌のベストセラー・リストに。以後、今日までベストセラーを連発し、国民的作家として活躍を続けている。『沈黙の果て』『失踪者』『裏切り』他多数の著作がある。</p>		

ファンタジイ & ホラー Lineup for 2024 : Fantasies and Horrors

84

『シャドウプレイ』 ※仮題 Shadowplay		四六判上製
ジョセフ・オコーナー	栩木 伸明 訳	2024 年 5 月
<p>主人公は劇場支配人ブラム・ストーカー。そして大人気俳優のヘンリー・アーヴィングと名優エレン・テリー（いずれも実在の人物）。劇場を舞台にした三人の人生を回顧するかたちで描くと同時に、ストーカーの内部で『吸血鬼ドラキュラ』がいかに生まれ、育ったのかの物語でもある。実際に、ドラキュラ伯爵はこの小説の影の主人公といってもいい。作家ストーカーの無意識の中で小説が形をなしていくにつれ、ドラキュラが影絵の芝居（Shadowplay）のように現実に影を落とし始める。</p>		
<p>著者紹介：1963年アイルランドの首都ダブリン生まれ。現代アイルランドを代表する作家のひとり。新聞、雑誌、ラジオのコラムニストをつとめたのち作家デビュー。初期の作品で青春小説『アシッドハウス・ブルー』、ノンフィクション『ダブリンUSA』などがある。彼を一躍国際的なベストセラー作家にしたのは、2004年に書かれたStar of the Sea（19世紀アイルランドのジャガイモ飢饉を描いた大河小説）である。他には、アイルランドの作家シングの恋を描いたGhost Light（2011）などがある。</p>		

85

『カシュニッツ短編傑作選2』 ※仮題 Selection of Stories vol.2		四六判上製
マリー・ルイーゼ・カシュニッツ	酒寄 進一 訳	2024 年 4 月
<p>死んだはずの養子に常に見張られていると主張し、家中の戸締まりを厳重にする妻。夫の会話から見えてくる真実とは……（「雪解け」）。ある女性は、日記に身体の痛みをだんだん感じられなくなっていくと綴っており……（「火中の足」）。誘拐された少年を見つけ出すことに取り憑かれた女性は、どこにいるときも常にその少年を探してしまい……（「幸せでいっぱい」）。日常のなかに入り込み、迫ってくる幻想。人間心理の恐ろしさ、歴史がもたらす悲劇など全15編。戦後ドイツを代表する女性作家の粋を集めた『その昔、N市では』に続く日本オリジナル傑作短編集！</p>		
<p>著者紹介：1901年、ドイツのカールスルーエ生まれ。詩人、小説家。考古学者の夫の任地を転々とし、フランクフルトやローマに滞在。30年代から創作活動を開始し、詩や小説、ラジオ・ドラマの脚本、エッセイなど多くの領域で活躍した。55年にビューヒナー賞を、70年にヘーベル賞を受賞。日本オリジナル短編集『六月半ばの真昼とき——カシュニッツ短篇集』があるほか、「怪談」が『現代ドイツ幻想小説』に収録されている。その他の著作に『精霊たちの庭』『ギュスターヴ・クールベ——ある画家の生涯』など。74年没。</p>		

86

『イーディス・ホラー』 ※仮題 Edith Holler		四六判上製
エドワード・ケアリー	古屋 美登里 訳	2024 年冬
<p>語り手の「わたし」はノリッジの町に住む12歳の少女、イーディス。病弱で家の外に出られないので、毎日ベッドから外を見ている。イーディスが住んでいるのは曾祖父の名声で有名になったホラー劇場。イーディスの父で劇場主のエドガーが、4回目の再婚した相手は、悪徳商人として知られるアッティングの娘だった。劇場の資金援助のための結婚。イーディスは継母になじめずにいた。実はイーディスは劇場と結びついていて、彼女が一度でも出たら劇場は崩壊すると言われていた。ところが、継母はなんとかしてイーディスを外に連れ出そうとする。父と継母の結婚で部屋を奪われ、地下の台所のそばに追いやられるイーディス。なんと父も行方不明になってしまったのだ。著者による挿絵多数。</p>		
<p>著者紹介：英国生まれの作家・イラストレーター。様々な国で戯曲、シナリオ作家としても活躍している。現在はテキサス在住。翻訳での既刊は『望楼館追想』『アルヴァとイルヴァ』〈アイアマンガー3部作〉『おちび』『飢渴の人』『呑み込まれた男』『B：鉛筆と私の500日』がある。</p>		

87	『 失われたものたちの国 』 ※ 仮題 The Land of Lost Things	四六判並製
	ジョン・コナリー	田内 志文 訳
		2024 年初夏
	8歳になる娘とふたり暮らしのセレス。ある日、娘が交通事故に遭ってしまい、意識不明となってしまう。娘はある施設に移されるが、そこはかつて『失われたものたちの本』を書き、失踪してしまった作家が建てた家だった。ある晩、娘の容態が急に悪化し、施設の屋根裏部屋から突然得体の知れない「何か」が現れる。セレスは慌てて外へ出て、古い木のうろを通り抜け、異世界へと入り込んでしまう。そこは狼男や魔女、巨人やマンドレイクといった、おとぎ話や神話の登場人物たちが蠢く恐ろしい世界だった。セレスは無事に異世界を脱出し、娘の意識を取り戻す手がかりを得ることができるのか？ 本にまつわる異世界冒険譚『失われたものたちの本』続編！	
	著者紹介：1968年アイルランド生まれ。犯罪小説、ホラー、ファンタジーなどを執筆。ダブリン大学およびダブリンシティ大学で学んだ後、フリーのジャーナリストとして活動。99年のデビュー作『死せるものすべてに』はシェイマス賞を受賞したほか、ブラム・ストーカー賞とバリー賞にノミネートされた。2007年に『失われたものたちの本』で全米図書館協会アレックス賞を、14年に「キャクストン私設図書館」でアメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞とアンソニー賞の最優秀短編賞を受賞した。	

88	『 キャクストン私設図書館 』【文庫版】 Night Music: Noctones 2	創元推理文庫
	ジョン・コナリー	田内 志文 訳
		2024 年秋～冬
	ある日、本好きのバージャー氏は奇妙な体験ののちに〈キャクストン私設図書館&書物保管庫〉に辿り着く。初版本と手稿本を所蔵するこの古びた図書館には、アンナ・カレーニナ、ハムレット、シャーロック・ホームズなど、本から抜け出して“実体化”した名作の登場人物が住んでいた。図書館の秘密を知ったバージャー氏は〈物語〉の世界を揺るがすある計画を思いつき――。本好きの功罪を優しく切なく魅力たっぷりに描き、アメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞とアンソニー賞を受賞した表題作に加え、同じく〈キャクストン私設図書館〉の“もっとも不可思議なできごとのひとつ”に数えられるシャーロック・ホームズにまつわる逸話や、異世界冒険譚『失われたものたちの本』のスピノフ短編、触れた者に次々と怪奇現象が起きる奇書をめぐる中編の全4作を収録。非日常の世界に没頭する楽しみをじっくり味わえる、本や物語をテーマにした作品集が文庫化！	

89	『 願いの島 』 ※ 仮題 The Wishing Game	四六判並製
	メグ・シェイファー	杉田 七重 訳
		2024 年秋
	大好きな児童書作家から届いたゲームへの招待状。それがルーシーの運命を変えた！ ベストセラーの児童書シリーズで巨万の富を得た作家ジャック・マスターソンは、孤島に住み、そこに自分の作品〈クロック・アイランド〉シリーズさながらの世界を再現して暮らしていた。天涯孤独なジャックは、これまで自分にファンレターで悩みを相談してきた子供たちのなかからとくに心に残った人物を4人選んで孤島に招待し、「ウィッシングゲーム」というゲームを主催することにしたのだ。勝者には〈クロック・アイランド〉シリーズの最新作の印税がプレゼントされる。それぞれに事情をかかえる参加者たちはゲームをクリアできるのか。ハートウォーミングなラストに心洗われる作品。	
	著者紹介：ロマンス小説で数々のベストセラーを発表するアメリカのベテラン作家ティファニー・ライスの別名義。本作で新境地を切り開いている。ちなみにティファニー・ライスの作品はRITAR賞、ラムダ文学賞などの数々のロマンスの賞を受賞している人気作家。	

90	『 ダムゼル 運命を拓きし者 』 Damsel	創元推理文庫
	イヴリン・スカイ	杉田 七重 訳
		2024 年3月
	貧しいイノフェ公国のプリンセス、エロディに、豊かな島国オーリア国の皇子から結婚の申し込みがあった。結婚と引き換えに国を援助してくれるというのだ。実際にオーリア国に行ってみれば、王子はうっとりするほど素敵だし、豪華な婚礼衣装、贅沢な料理といいことづくめ。だがエロディは、どこか違和感を感じていた。そして結婚式の夜……。貧乏国のプリンセスが機知と勇気で運命を切り開く、Netflix映画原作の異世界ファンタジイ。	
	著者紹介：サンフランシスコ在住の作家。YAのフィクション（ファンタジイ）、児童書ほか、幅広い読者層に向けた作品を発表し、ニューヨークタイムズ・ベストセラーリストにもたびたび名前が登場する。	

91	『 幽霊のところで 』 ※ 仮題 유령의 마음으로	四六判単行本
	イム・ソヌ	小山内 園子 訳
		2024 年内
	人をクラゲにしてしまう謎の生物が大量発生し、海辺の町のとあるカップルは、クラゲの死体処理員と、自らクラゲになりたがる人のサポートスタッフになるが……（「光っていません」）。昏睡状態の恋人を見舞い続ける「私」の前に、分身を名乗る幽霊が現れて……（「幽霊のところで」）。元彼のSOSを受けた「僕」は、彼の家族であった失踪したトカゲの行方を追うことになり……（「家に帰って寝なくちゃ」）。閉塞感に満ちた日常を送る人々に爽やかな開放感をもたらす、不思議な出来事。韓国発、8つの奇妙な物語！	
	著者紹介：1995年、ソウル生まれ。2019年『文学思想』新人文学賞を受賞し、執筆活動を始める。本書がデビュー作。	

92	『 ささやきの島 』 ※ 仮題 Island of Whispers	四六判上製
	フランシス・ハーディング エミリー・グラヴェット 絵	児玉 敦子 訳
		2024 年冬
	死者がとどまると言われる島で、死者たちを次の世界の入り口となる〈壊れた塔〉の島へ送り届ける役目を担っているのが渡し守だ。マイロはそんな渡し守の息子で、兄レイフと共に次の渡し守を継ぐ存在だった。だが、マイロは死者の気持ちに寄り添いすぎて心を開いてしまうため、渡し守に剥いていないと父に言われていた。好奇心からでも、死者の顔をひと目見てしまったら、致命的なことになるからだ。そんなある日、領主のまだ若い娘が死んだが、領主は納得せず黒魔術に頼って生き返らせようとしていることがわかる。マイロの父は領主の娘を〈壊れた塔〉の島へ送ろうとするが、領主の護衛ともみ合って命を落としてしまい、兄も囚われてしまう。死者たちを送っていけるのはマイロだけ。マイロは無事に渡し守の役目を果たすることができるのか。	
	著者紹介：英国ケント州生まれ。オックスフォード大学で英文学を学んだあと、2005年Fly By Nightでデビュー。デビュー作から注目を集め、06年にブランフォード・ボウズ賞を受賞、その続編にあたるTwilight Robberyで11年にガーディアン賞のショートリストと、カーネギー賞のロングリストに。さらに5作目にあたる『ガラスの顔』でカーネギー賞のロングリスト、6作目の『カッコーの歌』では英国幻想文学賞を受賞、カーネギー賞のショートリストにノミネートされる。7作目にあたる『嘘の木』はコスタ賞の児童書部門と大賞を受賞したほか、ガーディアン賞ではショートリストに、またカーネギー賞でもショートリストにノミネート。イラストのエミリー・グラヴェットは英国を代表する絵本作家・イラストレーター。美術学校在学中にマクミラン社の児童書画家に贈られる賞を受賞し、2005年に『オオカミ』でケイト・グリーンアウェイ賞（現カーネギー賞画家賞）を受賞。07年に発表した作品で2度目のケイト・グリーンアウェイ賞を受賞し、以降発表した作品のほとんどが同賞にノミネートされている。挿絵画家としても活躍しており、A・F・ハロルド『きみが消えないうちに』、J・K・ローリング『クイディッチ今昔』などが邦訳されている。	

93	『 伝説とカフェラテ 』 ※ 仮題 Legends & Lattes	創元推理文庫
	トラヴィス・バルドリー	原島 文世 訳 2024年5月
	<p>内容紹介：珈琲店を開きたい。それがヴィヴの夢だった。苦楽を共にしてきた傭兵仲間に別れを告げ、最後の冒険の戦利品である幸運の輪を引き寄せるというスカルヴァートの石を持って、いちから店作りに着手する。廃屋同然の厩を買い取り、気むずかし屋だが腕は確かな船大工を雇って改装。見慣れない飲み物に最初は閑古鳥が鳴いていた店も、募集広告を見てやってきた店員が描いたセンス抜群の看板や、隠れた天才パン職人のつくるうっとりするようなパンや菓子のおかげで、次第に繁盛しはじめるが……。ネビュラ賞最終候補の心温まるコースーファンタジイ。</p>	
	<p>著者紹介：もともとコンピューターゲーム業界出身で、Fate、Torchlight、Rebel Galaxyなどという米国では知られたゲームのデザイナー／デベロッパー（クリエイター）だったが、数年前にゲーム業界から引退し、オーディオブックのナレーターとして働くようになったという、なかなか異色の経歴を持つ。『伝説とカフェラテ』（仮）は作家としてのデビュー作であるが、むしろ円熟した筆致と評価したいレベルで、新人にありがちな生硬さをまったく感じさせない。</p>	

94	『 ドイツロマン派怪奇幻想短編集 』	創元推理文庫
	ホフマン、ブレンターノ他	遠山 明子 訳 2024年夏
	<p>ドイツロマン派の著者たちによる、無気味な話、幻想的な話、不思議な話を集めた短編集。めくるめく悪夢の世界にご案内します。</p>	

95	『 竜の医師団 1 』	創元推理文庫
	庵野 ゆき（あんの・ゆき）	2024年2月
	<p>この世は竜の創りしもの。竜のあるところに豊穡あり。だが竜が病みし時、彼らは破壊をもたらす。〈竜ノ医師団〉とは竜の病を退ける者。極北の国カランバス。虐げられし民ヤポネ人の少年リョウは、憲兵から逃れ必死で飛空船の発着場を目指していた。竜ノ医師団は治外法権、飛空船でたどり着き入団できれば、ヤポネ人でも道が開ける。発着場に向かう途中リョウは、上流階級のお坊ちゃんレオニートに出会う。彼も竜ノ医師団に入団したいというのだ。二人は協力して船に乗るが……。『水使いの森』で第4回創元ファンタジイ新人賞優秀賞受賞の著者が贈る、竜の医師を目指す少年たちの物語。</p>	
	<p>著者紹介：徳島県生まれのフォトグラファーと、愛知県生まれの医師の共同ペンネーム。2019年『水使いの森』（応募時のタイトルは『門のある島』）で第4回創元ファンタジイ新人賞優秀賞を受賞。著作に『水使いの森』『幻影の戦』『叡智の覇者』がある。</p>	

96	『 竜の医師団 2 』	創元推理文庫
	庵野 ゆき（あんの・ゆき）	2024年3月
	<p>筆記試験は零点ながら、竜との対峙でめでたく入団を勝ち取ったリョウ。だが、初等教育も受けていなかったため小学校から学び直す羽目に。一方レオニートは驚異的な記憶力と豊富な知識で楽々入団を果たすが、血を見るのが苦手な医者としては前途多難。そんな彼らを引き受けたのは破天荒な言動で周囲の度肝を抜く竜血管内科のニーナ科長だった。リョウは熱を観ることができるといふヤポネ人の視力を武器に、レオと共に幾つもの症例に挑む。だがカランバスのデイドウスは、最年長にして最大の竜、最期の時が迫っていた。生と死と医療のあり方を見つめる、異世界本格医療ファンタジイ。</p>	

97	『 月鶯 』 ※ 仮題	四六判上製
	乾石 智子（いぬいし・ともこ）	2024年夏
	<p>人々がイーリアと呼ばれる不思議な獣たちと共存する平和なハスティア公国には、魔力を操るフォーリという人々がいた。ハスティアの地方領主の娘ジルは、幼いながらも強い力の持ち主で、試練を経てフォーリとしての道を歩み始める。そんなとき、竜の血を引くといわれるドリドラヴ王国の王子たちがハスティアの富と力に目をつけた……。『夜の写本師』にはじまる〈オーリエラントの魔道師〉シリーズで、自らの内に闇を抱える魔道師たちの姿を描いてきた著者渾身の書き下ろしファンタジイ。</p>	
	<p>著者紹介：山形県生まれ、山形大学卒業。1999年教育総研ファンタジー大賞受賞。著書に『夜の写本師』『魔道師の月』『太陽の石』『オーリエラントの魔道師たち』『沈黙の書』『紐結びの魔道師』『滅びの鐘』『闇の虹水晶』（以上東京創元社）、『ディアスと月の誓約』『竜鏡の占人 リオランの鏡』『双頭の蜥蜴』『炎のタベストーリー』などがある。山形県在住。</p>	

98	『 パラ・サイコ 』 ※ 仮題	四六判単行本
	上條 一輝（かみじょう・かずき）	2024年夏
	<p>「変な怪談を聞きに行きませんか？」会社の後輩に誘われて、大学のオカルト研究会のイベントを訪れた高山カレン。そこである女子学生が披露した怪談を聞いてから、彼女の日常は怪現象に侵食される。かつてストーカーからのつきまといを受けていたカレンは、それまで一番怖いのは人間だと思っていた。だが、それは大きな間違いだった――全選考委員絶賛、創元ホラー長編賞受賞作。</p>	
	<p>著者紹介：1992年長野県生まれ。東京都在住。早稲田大学卒業。現在は会社員の傍ら、webメディア〈オモコロ〉にて加味條名義でライターとして活動している。</p>	

99	『 聖剣アルスルと傷の王 』 ※ 仮題	創元推理文庫
	鈴森 琴（すずもり・こと）	2024 年冬
	帝都で開かれる皇帝の誕生祝いの席に、六災の王の一体地動王の眷属であるネズミの三大臣があらわれ、地動王と敵対する番狼王の子供たちをアルスルに退治して欲しいとの依頼を告げる。依頼を果たせば、褒美として地動王が奪った城郭都市エンブラの一部、花の大図書館を与えるというのだ。皇帝の命令で城郭都市エンブラのあるサウスへ向かうアルスルと鍵の騎士団。そこでは二つの大貴族、城郭都市アスクを治めるショオトヘア家と城郭都市エンブラの主シェバアド家がいがいあっていた。	
	著者紹介：東京都出身。玉川大学文学部卒業。2018年の第3回創元ファンタジイ新人賞に佳作入選した『忘却城の界人』を、19年『忘却城』と改題してデビュー。他の著作に『忘却城 鬼帝女の涙』『忘却城 炎龍の宝玉』『皇女アルスルと角の王』『騎士団長アルスルと翼の王』がある。	

100	『 隠し子騒動 妖怪の子、育てます4 』	創元推理文庫
	廣嶋 玲子（ひろしま・れいこ）	2024 年 4 月
	「おとっつあん！ 会いたかった！」おまきと名乗る少女は久蔵に飛びついてそう叫んだ。目に入れても痛くない双子の愛娘の目の前での出来事に呆然とする久蔵。だがよくよく話を聞いてみると、母親はかつて一緒に暮らしたことがある芸者。いろいろ事情はありつつも、まったく身に覚えがないわけでもない。とはいえ娘として迎え入れることはできないと、いったんはおまきを返したが……。久蔵の隠し子騒動に端を発した事態は、千吉や玉雪、果ては大妖たちまで巻きこむ大事に発展する。好調、お江戸妖怪ファンタジイ〈妖怪の子、育てます〉第4弾！	
	著者紹介：神奈川県生まれ。『水妖の森』で、ジュニア冒険小説大賞を受賞し2006年にデビュー。主な作品に〈ふしぎ駄菓子屋 銭天堂〉シリーズ、〈妖怪の子預かります〉シリーズ、〈ナルマン年代記〉三部作、〈十年屋〉シリーズ、〈秘密に満ちた魔石館〉シリーズ、〈鬼あそび〉シリーズ、『送り人の娘』『火鍛冶の娘』『魂を追う者たち』『鳥籠の家』『銀獣の集い』などがある。	

101	『 ナルマン年代記短編集 』 ※ 仮題	四六判仮フランス装
	廣嶋 玲子（ひろしま・れいこ）	2024 年秋
	人間とは異なる姿、能力をもつ不思議な存在魔族を統べる三人の王と人との関わりを描いた異世界ファンタジイ『青の王』『白の王』『赤の王』からなる三部作。砂漠の都ナルマンを舞台に繰り広げられる物語。本編では語られなかったあんなこと、こんなことが満載の短編集ついに刊行。	

102	『 あやかしがかり捕り物帳 1 』 ※ 仮題	創元推理文庫
	松葉屋 なつみ（まつばや・なつみ）	2024 年冬
	南町奉行所の与力言永藤十郎は、最近妻を娶ったばかり。妻の玉世は、美しく淑やかで、まさに理想の妻だった。だが、玉世の正体は狐だった。かつて藤十郎に助けられた狐が藤十郎恋しさのあまり人間に化けていたのだ。藤十郎は名うてのあやかしざらい、ばれたら絶対側にいられない、必死で正体を隠す玉世だったが、藤十郎が上役から裏江戸とよばれるあやかし別天地の見回り役に任じられたことから……。『星砕きの娘』の著者が描くお江戸あやかし捕り物帳。	
	著者紹介：静岡県出身。筑波大学卒業。『歌う峰のアリエス』でC★NOVELS大賞を受賞。中央公論新社でC★NOVELS Fantasiaで同書を刊行。『沙石の瓦に鬼の舞う』で第4回創元ファンタジイ新人賞受賞（刊行時に『星砕きの娘』に改題）。他に著作は『星巡りの瞳』がある。	

103	『 あやかしがかり捕り物帳 2 』 ※ 仮題	創元推理文庫
	松葉屋 なつみ（まつばや・なつみ）	2024 年冬
	あやかし嫌いの与力どん、こと言永藤十郎。だが自分の女房の玉世が実は狐であることにはまったく気づいていなかった。裏江戸ことあやかし別天地の見回りにも慣れてきた藤十郎だったが、江戸の街に疫病が流行り、どうやら正体不明のあやかしがからんでいるらしいとの情報を得る。藤十郎の捜査の裏で、なんとか愛する夫に手柄をたてさせたい玉世は……。お江戸あやかし捕り物帳第2弾。	

文芸 Lineup for 2024 : Literature

104	『 イギリス人の患者 』 The English Patient	創元文芸文庫
	マイケル・オンダーチェ	土屋 政雄 訳
	王に名を消し去られた風、部族ひとつを溺れさせる砂の海、泳ぐ人々が壁一面に描かれた泉の洞窟——妖しくも美しい情景が、男の記憶には眠っていた。砂漠に墜落し燃え上がる飛行機から生き延びた彼は、顔も名前も失い、かつて野戦病院だった屋敷で暮らす。世界からとり残されたこの場所に、一人で男を看護する女性、両手の親指を失った泥棒、爆弾処理班の工兵と、戦争の癒えぬ傷を抱えた人々が留まり、男の物語に耳を傾ける。それぞれの哀しみは過去と現在を行き来し、記憶と交わりながら、豊饒な小説世界を展開していく。英国最高の文学賞、ブッカー賞五十年の歴史の頂点に輝く長編。	
	著者紹介：1943年セイロン（現在のスリランカ）、コロンボ生まれ。トロント大学で学士号を、クイーンズ大学で修士号を取得。70年『ビリー・ザ・キッド全仕事』が高い評価を受け、カナダ総督文学賞を受賞。小説では、92年『イギリス人の患者』がカナダ総督文学賞とブッカー賞を、2000年『アニルの亡霊』がカナダ総督文学賞とギラー賞とメディシス賞を受賞。07年『ディビザ デロ通り』で、三度目のカナダ総督文学賞受賞となる。16年にはカナダ勲章の最高位にあたるコンパニオンの称号が授与された。18年、ブッカー賞五十周年を記念して歴代受賞作から最高の作品を選ぶゴールデン・マン・ブッカー賞を『イギリス人の患者』が受賞。	

105	『 老人ホーム——一夜の出来事 』 House Mother Normal: A Geriatric Comedy	創元ライブラリ
	B・S・ジョンソン	青木 純子 訳
	ある老人施設の一夜。八人の老人と、一人の寮母。いつもどおりの夕食と作業とお楽しみ会。老人たちは体力も知力もまちまちで、歩けない人、何もわからなくなっている人もいる。それぞれが、自分だけの世界にひきこもり、過去を思い現在を思う（あるいは何も思わず?）。それでも一夜の時は流れ、九人の行動と思考はシンクロしてはまた離れてゆく。独立した九章が同時に進行するスタイルで老いの真実、人間の真実を滑稽に、残酷に、浮き彫りにする極めて実験的小説。ついに文庫化！	
	著者紹介：1933年生まれ。ロンドン生まれ。ロンドン・キングズ・カレッジ卒。デビュー作をT・S・エリオットに認められ、グレゴリー賞を受賞。その後、次々に実験小説風の作品を発表し、3作目の『トロール』でサマセット・モーム賞を受賞。ジョイス、ベケットの後継者として脚光を浴びた。『不運な奴ら』が4作目で本書は第5作。73年没。	

106	『 不運な奴ら 』 ※ 仮題 The Unfortunates	函入り特装本 （海外文学セレクション）
	B・S・ジョンソン	若島 正 訳
	「ストーリーは小説の第一条件ではない。人生はストーリーを語らない。……人生は混沌として、流動的なもので、乱雑なままに終わる」というのがジョンソンの主張である。主人公のサッカー記者が、かつて親友夫妻と住んでいた、ある町に仕事で派遣された。そこで彼は病で29歳にして死んだ友人の記憶を再編成しようと試み、そして再びもといたところに帰っていくという物語。彼の現在と過去は対等に現前する。その同時性を表わすために、ジョンソンは全体を27の部分にわけて、「最初」と「最後」という二部以外はアトランダムに箱に入れて過去と現在の混じり合う混淆と欠落を表現した。実験的手法が人生を鮮やかに描き出す。	

107	A Swift Pure Cry ※ 原題	四六判上製	
	シヴォーン・ダウド	宮坂 宏美 訳	2024 年冬
	1984年の春。アイルランド南部の小さな村で、15歳の少女シェルは鬱屈した毎日を送っていた。母親を病気で亡くして以来、酒浸りの父親と、反抗的な弟、幼い妹の世話に明け暮れていたのだ。そんなとき、幼なじみの少年に誘われ、深い関係になってしまふ。やがて妊娠に気づき、だれにも相談できずに悩みつづけて……。 「助けて」と声をあげることができなかったひとりの少女の孤独、絶望、そして成長――。カーネギー賞、ガーディアン賞、ドイツ児童文学賞など、数々の賞にノミネートされ、ブランフォード・ボウズ賞とアイリーシュ・ディロン賞に輝いた、シヴォーン・ダウドの伝説的なデビュー作！		
	著者紹介：1960年、ロンドン生まれ。オックスフォード大学卒業後、国際ペンクラブに所属し、作家たちの人権擁護活動に長く携わった。2006年、A Swift Pure Cryで作家デビューし、ブランフォード・ボウズ賞とアイリーシュ・ディロン賞を受賞した。47歳で逝去。死後に『ボグ・チャイルド』が発表され、09年のカーネギー賞を受賞している。主な著作にピスト最優秀児童図書賞を受賞した『ロンドン・アイの謎』、原案に『怪物はささやく』（パトリック・ネス著）『グッゲンハイムの謎』（ロビン・スティーヴンス著）などがある。		

108	『いろいろな幽霊』 The Ghost Variations	四六判単行本 (海外文学セレクション)	
	ケヴィン・ブロックマイヤー	市田 泉 訳	2024 年 4 月
	失恋した瞬間を永遠に繰り返す幽霊、雨となって降り注ぐ幽霊、方向音痴の幽霊、瞬間転送装置が生み出す幽霊……イタロ・カルヴィーノ短編賞受賞作家が贈る、時に切なく、時におかしく、そして時にはちょっと怖い幽霊たちの物語を100編収めた不思議な短編集。		
	著者紹介：1972年生まれ、アーカンソー州在住。97年に「ある日の“半分になったルンペルシュティルツヒェン”」でイタロ・カルヴィーノ短編賞を受賞し、作家デビュー。文芸誌「グランタ」が10年ごとに発表する「もっとも有望な若手アメリカ作家2007」に選ばれ注目を集める。邦訳書に長編『終わりの街の終わり』（2008）、短編集『第七階層からの眺め』（2011）がある。		

109	『サラゴサ手稿』（全 3 巻） Manuscrit trouvé à Saragosse	創元ライブラリ	
	ヤン・ポトツキ	工藤 幸雄 訳	2024 年 5 月～ 7 月
	ポーランドの大貴族の生まれであるポトツキは、旅行家、歴史家などとして知られる人物だが、その彼が生み出した物語が『サラゴサ手稿』です。《本書をめぐる物語は『手稿』そのものに劣らず、多くの問題を抱えこんでいる。『手稿』の入り組んだ話の筋があくまで架空なのにひきかえ、作者の生い立ちと生涯、加えて『サラゴサ手稿』の出版とそのその後の経緯は、現実であると断るまでもない。だが、この書の架空の『手稿』の発見者が架空のフランス軍士官であり、あくまでも物語の執筆者と異なる。にもかかわらず、いつしか読者は実在の作者と架空の人物群とを混同しがちである。それに似て、実在の『サラゴサ手稿』の辿った運命もまた『サラゴサ手稿』のくりひろげる数奇な運命同様に、いくつかの別物語をつづり出すかのようだ。》これは、生前工藤幸雄先生が本書について書き残された文章の一部です。というわけで様々な異本のある『サラゴサ手稿』の、2008年に出た決定版とも言われる版以前のバージョンに、ポーランド語版を参照しての翻訳がこのライブラリ版となります。何が真実で、何が架空の物語なのか……。『サラゴサ手稿』の謎にみちた存在の一端を本書からも味わっていただければ幸いです。		
	著者紹介：ポーランドの作家、歴史家、旅行家、民族学者。1761年、ポーランドの大貴族の家に生まれる。1815年没。		

110	『牡猫ムルの人生観』 Lebensansichten des Katers Murr	四六判単行本	
	E・T・A・ホフマン	酒寄 進一 訳	2024 年 11 月
	E・T・A・ホフマンによる、奇妙な二重構造の小説。共にローレンス・スターンの『トリストラム・シャンディの生活（生涯）と意見』の影響を受けた夏目漱石とホフマン。漱石は『吾輩は猫である』を書き、ホフマンは『牡猫ムルの人生観』を書いたと言われるが、漱石は『ムル』を読んで『吾輩』を書いたといわれるのをいやがったという。真相はいかに？　それはさておき、『ムル』は祖先に『長靴をはいた猫』を持ち、川に捨てられた子猫時代にある魔術師に助けられ、主人の机の上に座り、彼が音読する本を聴き、文字を目で追い、言葉（ドイツ語）を習得。羽根ペンを使って自伝を書くようになる。近くにあった『クライスラー伝』という本のページを破っては、吸い取り紙として挟み込んでいたため、ホフマンが友人に勧められて、本にすべく出版社に渡して、出来上がってみると、ムルの自伝は『クライスラー伝』とのつぎはぎの、前代未聞の二重構造の作品になっていた！　しかも『クライスラー伝』の部分は犯罪小説仕立て、という奇怪な本なのである。実は未完。		
	著者紹介：ドイツの作家、作曲家、音楽評論家、画家、法律家。現在では、主に幻想作家として知られる。1776年生まれ、1822年没。		

111	『小説のように』 Too Much Happiness	創元文芸文庫	
	アリス・マンロー	小竹 由美子 訳	2024 年 7 月
	その音楽教師の女性は、子連れの若い女性に夫を奪われながらもプロの音楽家として大成し、新たな家庭を築いていた。老境にさしかかった彼女の前に一冊の小説が現れる。そこでは彼女自身の人生が、ある少女の目を通じて語られていた――表題作「小説のように」ほか、流れゆく人生に訪れる、震えるほどの情動の瞬間を描いた10の物語。ノーベル文学賞、国際ブッカー賞受賞の「短編小説の女王」がその才を遺憾なく発揮した、現代文学の最高峰を示す短編集。		
	著者紹介：1931年カナダ、オンタリオ州生まれ。図書館勤務と書店経営ののち、68年に最初の短編集『ピアノ・レッスン』でカナダ総督文学賞を受賞。以降、78年Who Do You Think You Are?と86年『愛の深まり』でも同賞を受賞し、計三度の総督文学賞受賞を果たした。98年『善き女の愛』でギラー賞と全米批評家協会賞を、2004年『ジュリエット』でギラー賞を受賞したほか、受賞歴多数。「短編小説の女王」と賞され、09年には国際ブッカー賞を、2013年にはノーベル文学賞を受賞した。		

112	The Excitements ※ 原題	四六判単行本	
	C・J・レイ	高山 祥子 訳	2024 年冬
	2022年ロンドン。99歳のジョゼフィーヌと97歳のベニーの姉妹はただものではない。第二次世界大戦中、ジョゼフィーヌは海軍婦人部隊に所属、ベニーは応急看護師部隊に所属して、鋼の意志で戦地を生き抜いてきた。彼女たちのもとに、フランスのレジオンドヌール勲章が授与されるという知らせがあった。姉妹はこの機会に、1939年のパリで出会ったユダヤ人青年をめぐる事件とその思い出を清算することに決める。ふたりは老女に見えて策略も窃盗もお手の物。勲章授与式と同時進行で、大きなミッションが始まる――。“いつも機嫌よく”をモットーに、激動の時代をたくましく生きてきた姉妹の物語！		
	著者紹介：40作以上の著作があるサンデー・タイムズ紙ベストセラー作家の別名義。このペンネームではデビュー作となる。イングランド西部で育ち、心理学を学ぶ。		

113	『 名探偵の有害性 』 ※ 仮題	四六判単行本
	桜庭 一樹（さくらば・かずき）	2024 年内
	<p>「――推理の風が吹いたあっ！」東京の下町で、鳴宮夕暮が年下の夫とともに営む「純喫茶おいでいぶす」に突然現われた奇矯な客は、三十年近く前、平成の世を沸かせた名探偵ブームの申し子の一人・五狐焚風だった。そして夕暮は、かつて彼の助手を務めていた。再会した日の夜、久々に昔の思い出や今の生活について互いに話し合った二人だが、その翌日何者かによってアップされた、“名探偵の有害性”を告発すると称する動画によって炎上騒ぎに巻き込まれてしまう。風と夕暮、かつての名探偵と助手のコンビは、平成における名探偵の存在意義を証明するべく、過去に解決した事件を振り返る巡礼の旅に出る。</p> <p>著者紹介：1999年「夜空に、満天の星」（『AD2015隔離都市 ロンリネス・ガーディアン』と改題して刊行）で第1回ファミ通えんため大賞に佳作入選。2003年開始の〈GOSICK〉シリーズで多くの読者を獲得し、さらに04年に発表した『推定少女』『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない』が高く評価される。05年に刊行した『少女には向かない職業』は、初の一般向け作品として注目を集めた。『赤朽葉家の伝説』で、07年、第60回日本推理作家協会賞を、08年、『私の男』で第138回直木賞を受賞。著作は他に『少女七竈（ななかまど）と七人の可愛そうな大人』『製鉄天使』など。エッセイ集に《桜庭一樹読書記》シリーズなどがある。</p>	

114	『 アンソロジー 舞台! 』	創元文芸文庫
	近藤 史恵（こんどう・ふみえ）、笹原 千波（ささはら・ちなみ）、白尾 悠（しらお・はるか）、雛倉 さりえ（ひなくら・さりえ）、乾 ルカ（いぬい・るか）	2024 年 3 月
	<p>役を生きる俳優の輝き、世界観を作り出す舞台装置、息を潜めた客席の雰囲気。すべてが合わさって生まれる特別な空間「舞台」。きらびやかでまぶしいその場所は、「誰かの人生を演じる」「そこに自分の人生を重ねて見る」、意外に身近なところなのかもしれません。ミュージカル、パレエ、ストレート・プレイ、2.5次元……さまざまな舞台をテーマに描かれた五つの物語を収録する、創元文芸文庫オリジナルアンソロジー第2弾！</p>	

115	『 アンソロジー 料理をつくる人 』 ※ 仮題	創元文芸文庫
	西條 奈加（さいじょう・なか）、千早 茜（ちはや・あかね）、深緑 野分（ふかみどり・のわき）、秋永 真琴（あきなが・まこと）、織守 きょうや（おりがみ・きょうや）、越谷 オサム（こしがや・おさむ）	2024 年 11 月
	<p>どんな料理であっても、そこには作り手の感情が込められていると思います。プロの作る料理はお客さまを満足させるために、家庭料理は食事を共にする家族の健康や団らんのために、たとえ自分だけしか食べない簡単なものであっても、思いは注ぎこまれているのです。本書では、そんな「料理をつくる人」たちをテーマにした短編を六名の作家にご執筆いただきました。心と胃袋を満たす極上の物語を、思う存分ご堪能くださいませ。</p>	

ノンフィクション・評論その他 Lineup for 2022 : Other Genres

116	『 The Bookseller of Florence: Vespasiano da Bisticci and the Manuscripts that Illuminated the Renaissance 』 ※ 原題	四六判上製
	ロス・キング	杉田 七重 訳
	<p>フィレンツェのルネッサンスというと、まず想起されるのは美しいフレスコ画や優美な建築だ。それらは素晴らしい画家や建築家の手によるものであるが、同じほど重要な存在――写本ハンター、写学生、学者、そして書籍商を忘れてはならない。彼らこそが、古代の知恵を発見して人々に広め、新しい世界へといざなったのだ。そして、その活動の中心に、ヴェスパシアーノ・ダ・ビスティッチという傑出した書籍商がいた――。写本から印刷へと本のかたちが移り行く時代と、長く忘れられたルネッサンス期の非凡な書籍商の姿を描く、すべての読書家に贈る傑作ノンフィクション！</p> <p>著者紹介：1962年カナダのサスカチュワン州生まれの作家。小説とノンフィクションを手がける。著書に『天才建築家ブルネレスキ――フィレンツェ・花のドームはいかにして建設されたか』『システィナ礼拝堂とミケランジェロ』『クロード・モネ――狂気の眼と「睡蓮」の秘密』などがある。</p>	

117	『 クリスティを読む！ ミステリの女王の名作入門講座 』	四六判並製 (キイ・ライブラリー)
	大矢 博子（おおや・ひろこ）	発売中
	<p>数々の名作が世界中で読まれ、翻訳され、映像化・舞台化され、没後48年を経ても変わらぬ人気を保ち続ける――まさしくミステリの女王、アガサ・クリスティ。大人気カルチャー講座「アガサ・クリスティを読む」の講師を長年務める書評家が、〈探偵〉〈舞台と時代〉〈人間関係〉そして〈騙しのテクニック〉に焦点を当て、各章でテーマに添ったおすすめ作品を紹介しながら魅力を丁寧に語る。最終章〈読者をいかにミスリードするか〉では、女王の驚くべきテクニックをじっくり解説。クリスティのすごさを実感できる、入門に最適な一冊！</p> <p>著者紹介：1964年大分県生まれ。書評家・文芸評論家。ミステリや時代小説などエンターテインメント小説をメインにした新聞・雑誌への書評寄稿のほか、多数の文庫解説を執筆。ブックナビゲーターとして中京圏のラジオ出演やイベント司会などでも活躍中。翻訳ミステリー名古屋読書会主宰。2018年から栄中日文化センターにて講座「アガサ・クリスティを読む ミステリーの女王 その世界と魅力」講座を担当し、人気を博す。著書に『読み出したら止まらない！女子ミステリーマストリード100』『歴史・時代小説 縦横無尽の読みくらべガイド』などがある。</p>	

118	『 冒険小説論 近代ヒーロー像一〇〇年の変遷 』	創元推理文庫
	北上 次郎（きたがみ・じろう）	2024 年 2 月
	<p>スティーヴンスン『宝島』から始まり『水滸伝』を経由して滝沢馬琴『南総里見八犬伝』、そして戦後――英雄なき時代に繚乱する冒険小説のオデッセイアへ。洋の東西さえ越えて、著者は膨大な資料と文献を文字通り縦横無尽に涉猟する。ただ一心に、面白い小説を追い求めて。百年の文学史のなかで切り開かれた豊饒なる小説世界、その山嶺を闊達な筆致で踏破する一大評論。大衆文学研究に確かな里程標を刻み、第77回日本推理作家協会賞を受賞した名著。</p> <p>著者紹介：1946年東京都生まれ。明治大学卒。76年に椎名誠らとともに〈本の雑誌〉を創刊、2001年まで本名の目黒考二名義で編集発行人として同誌に携わる。同誌創刊号から書評を執筆、のちに書評家としては北上次郎の筆名を使うようになり、同名義で刊行した84年『冒険小説の時代』が第2回日本冒険小説協会大賞最優秀評論大賞を、94年『冒険小説論 近代ヒーロー像100年の変遷』が第77回日本推理作家協会賞を受賞。また、藤代三郎の筆名では競馬を中心にギャンプル・エッセイを執筆、〈週刊Gallop〉創刊号から連載が始まった「馬券の真実」は約30年に亘って続き〈外れ馬券〉シリーズとして27冊もの巻数を重ねた。2023年没。</p>	